

第3回宇陀市総合計画審議会 議事次第

日時:令和7年9月16日(火)午後3時00分～

場所:宇陀市役所 4階 大会議室

【次第】

- 1 開会
- 2 後期基本計画の骨子案について【資料1】
- 3 リーディングプロジェクトについて【資料2】
- 4 今後のスケジュールについて【資料3】

【配布資料】

- ・議事次第
- ・委員名簿 [P1]
- ・資料1:後期基本計画の骨子案について [P2]
- ・資料2:リーディングプロジェクトについて [P67]
- ・資料3:今後のスケジュールについて [P71]

宇陀市総合計画審議会委員名簿(令和7～10年度)

全20名(委員の種別順・所属団体50音順・敬称略)

委員の種別	所属団体	役職	氏名
(1) 行政委員会 の委員 (2名)	宇陀市教育委員会	委員	峯畑 忠郎
	宇陀市農業委員会	会長	下村 雅清
(2) 公共的団体等の役員 (10名)	宇陀市都市計画審議会	会長	小浦 久子
	宇陀市連合自治会	会長	杉本 忠博
	宇陀市民生児童委員連合会	会長	西角 政美
	宇陀商工会	会長	辻本 博一
	宇陀市観光協会	会長	○井上 源一
	宇陀市老人クラブ連合会	副会長	西田 義和
	宇陀市森林組合	代表理事組合長	大門 宏次
	宇陀市社会福祉協議会	理事	中西 基高
	宇陀市女性の会	副会長	福山 智子
	宇陀市人権教育推進協議会	会長	丸岡 伸作
(3) 学識経験者 (5名)	奈良県立大学	名誉教授	◎伊藤 忠通
	奈良テレビ(株)	代表取締役社長	福野 博昭
	(株)南都銀行榛原支店	支店長	吉本 健
	大和信用金庫榛原支店	支店長	片岡 正治
	奈良県知事公室美しい南部東部振興課	課長	大西 勝治
(4) その他市長が必要と認める者 (3名)	市民委員		長相 博
	市民委員		山田 基晴
	市民委員		奥田 真由

◎は審議会会長 ○は審議会副会長

第2次宇陀市総合計画後期基本計画
個別施策（案）
施策名の修正意見

目指すま ちの姿	施策の方向性	中期施策 No.	中期施策	後期施策案（第2回審議会）	後期施策修正意見	第2回審議会時の意見を踏まえた 修正	意見元	後期施策 No.	後期施策案（第3回審議会）
健康な まち	1-1「健康都市"ウェルネス シティ宇陀市"」の実現	1	新型コロナウイルスなど感染症予防や対策の充実を図ります	感染症への備えと安心できる暮らしを実現します	施策順変更 施策1⇒施策3	意見内容「安心できる暮らし」を実現するという表現はふんわりとしている。	第2回審議会、健康増進課	1	健康づくり活動による元気人口の増加を図ります
		2	健康づくり活動による健康長寿のまちを実現します	健康づくり活動による元気人口の増加を図ります	施策順変更 施策2⇒施策1		健康増進課	2	高齢者の健康寿命の延伸を図ります
		3	高齢者の介護予防を推進します	高齢者の健康寿命の延伸を図ります	施策順変更 施策3⇒施策2		健康増進課	3	感染症への備えを強化し、健康的な生活を守ります
	1-2みんなの幸せを支える福祉 環境づくり	4	だれもが住み慣れた地域で安心して生きがいをもち暮らせるよう支援します	すべての人が自分らしく暮らせるまちを実現します				4	すべての人が自分らしく暮らせるまちを実現します
		5	面倒見のいい地域福祉を推進します	つながりを生かした支え合いの地域福祉を推進します				5	つながりを生かした支え合いの地域福祉を推進します
		6	医療費の助成による安心して暮らしを実現します	暮らしに寄り添う医療費助成の活用を推進します				6	暮らしに寄り添う医療費助成の活用を推進します
	1-3結婚・出産・子育て世代 への魅力ある支援の充実	7	保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します	子育てがもっとしやすいくなるまちづくりを推進します		意見内容：「もっと」という表現が何と 比較しているのか。	第2回審議会	7	質の高い支援で子育てしやすいまちづくりを推進します
		8	子どもが健やかに育つよう支援します	こどもの健やかな育ちと学びを支援します				8	こどもの健やかな育ちと学びを支援します
		9	産前産後の支援・乳幼児への支援の充実を図ります	妊娠から出産・子育てまで切れ目ない支援を充実します				9	妊娠から出産・子育てまで切れ目ない支援を充実します
	1-4地域医療体制の充実を 図ります	10	医療体制の充実を図ります	持続可能な医療体制の確保とICTの活用を図ります		意見内容：「医療の提供体制を確 保する」という記載にした方が良いの ではないか。	第2回審議会	10	持続可能な医療提供体制の確保とICTの活用を図ります
		11	地域医療と福祉の連携を推進します	医療・介護・福祉の切れ目ない連携を推進します				11	医療・介護・福祉の切れ目ない連携を推進します
暮らし やすい まち	2-1みんなが住み良いまちづく りの実現	12	景観や環境を大切にすまちづくりを推進します	自然と共生する景観・環境の保全と活用を図ります				12	自然と共生する景観・環境の保全と活用を図ります
		13	交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します	地域と連携した安全・安心な暮らしを確保します				13	地域と連携した安全・安心な暮らしを確保します
	2-2移住・定住の促進強化	14	土地利用を推進します	地域の特性に応じた土地の有効利用を促進します				14	地域の特性に応じた土地の有効利用を促進します
		15	移住・定住者への総合的な支援の充実を図ります	移住・定住者が安心して暮らせる支援と空き家の利活用を推進します				15	移住・定住者が安心して暮らせる支援と空き家の利活用を推進します
	2-3公共インフラの持続的な整備・維持・活用	16	安全で快適な道路環境を整備・維持します	地域の暮らしを支える安全・快適な道路の整備を図ります				16	地域の暮らしを支える安全・快適な道路の整備を図ります
		17	ニーズに応じた地域公共交通を推進します	地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保を図ります				17	地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保を図ります
		18	効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します	安心・安全な下水道サービスの提供と適正な施設管理を推進します				18	安心・安全な下水道サービスの提供と適正な施設管理を推進します
	2-4災害に備えた安全・安心な 暮らしの実現	19	自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します	災害への備えと暮らしの安全確保を図ります				19	災害への備えと暮らしの安全確保を図ります
		20	防災意識の向上と防災・消防体制の強化を図ります	地域防災力の強化と消防体制の安定的な維持・充実を図ります				20	地域防災力の強化と消防体制の安定的な維持・充実を図ります
活力 あるまち	3-1地域資源の保全及び産業と連携した活用	21	歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します	歴史と文化を活かした地域の魅力づくりを推進します				21	歴史と文化を活かした地域の魅力づくりを推進します
		22	宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します	地域の魅力ある特産品や資源の価値向上と発信を図ります		意見内容：「資源の価値向上」が何を指すのか分かりにくい	第2回審議会	22	地域の魅力ある特産品や資源を「宇陀ブランド」として価値向上と発信を図ります
	3-2地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成 3-3基幹産業である農林業の再生・活性化	23	起業家など多様な人材を育成します	地域に活力をもたらす多様な人材の発掘と育成を図ります				23	地域に活力をもたらす多様な人材の発掘と育成を図ります
		24	地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します	地域特性を生かした農地の活用と農業基盤の強化を図ります				24	地域特性を生かした農地の活用と農業基盤の強化を図ります
		25	人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営の強化を図ります	農林業の担い手確保と経営力の強化を図ります				25	農林業の担い手確保と経営力の強化を図ります
		26	農林畜産物の生産・流通を推進します	地場産品の高付加価値化と販路拡大を図ります				26	地場産品の高付加価値化と販路拡大を図ります
		27	山林を適切に管理します	森林資源の循環活用と適正管理を推進します				27	森林資源の循環活用と適正管理を推進します
		28	駅前活性化を推進します	駅前を人と人がつながる交流拠点として活性化を図ります				28	駅前を人と人がつながる交流拠点として活性化を図ります
	3-4商工業の再生・活性化	29	地元で活動する事業者を支援します	地元事業者の成長支援と事業継承を促進します	表現変更 事業継承を促進⇒事業承継を促進		商工産業課	29	地元事業者の成長支援と事業承継を促進します
		30	企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します	地域に根差す産業の創出と企業誘致を推進します				30	地域に根差す産業の創出と企業誘致を推進します
		31	魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します	地域資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進します				31	地域資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進します
	3-5観光戦略の推進	32	満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします	滞在・交流を促す観光による関係人口の創出を図ります				32	滞在・交流を促す観光による関係人口の創出を図ります
		33	観光PRや情報発信の強化を図ります	効果的な観光プロモーションと地域の魅力を伝える情報発信を推進します				33	効果的な観光プロモーションと地域の魅力を伝える情報発信を推進します

目指すま ちの姿	施策の方向性	中期施策 No.	中期施策	後期施策案（第2回審議会）	後期施策修正意見	第2回審議会時の意見を踏まえた 修正	意見元	後期施策 No.	後期施策案（第3回審議会）
生涯輝く まち	4-1人権を大切に共生の まちづくりの実現	34	一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します	多様性と人権が尊重される地域づくりを推進します				34	多様性と人権が尊重される地域づくりを推進します
		35	あらゆる分野での男女共同参画を推進します	ジェンダー平等により誰もが対等に参画できる社会を実現しま す				35	ジェンダー平等により誰もが対等に参画できる社会を実現しま す
		36	仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスを推進します	多様な働き方と暮らしの両立を支援します				36	多様な働き方と暮らしの両立を支援します
	4-2子どもたちの教育環境の 充実	37	児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます	児童生徒の生きる力と社会性の育成を図ります				37	児童生徒の生きる力と社会性の育成を図ります
		38	児童生徒の教育環境を整えます	安心して学べる教育環境を整備します				38	安心して学べる教育環境を整備します
	4-3多様な学びの場の整備・ 充実	39	生涯学習環境の充実を図ります	生涯にわたり学びを楽しむ環境を整備します				39	生涯にわたり学びを楽しむ環境を整備します
		40	地域社会全体で子どもの育ちを支えます	地域ぐるみで支える子育て環境を推進します	表現変更 地域ぐるみで支える子育て環境⇒地域ぐるみで子どもの育ち や学びを支える環境づくり		生涯学習課	40	地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支える環境づくりを推進しま す
		41	スポーツ活動の充実を図ります	健康と交流を育むスポーツを推進します				41	健康と交流を育むスポーツを推進します
自然 豊かな まち	5-1豊かな自然環境の保全・ 活用	42	芸術・文化の振興を図ります	生きがいと交流を育む文化・芸術活動を推進します				42	生きがいと交流を育む文化・芸術活動を推進します
		43	豊かで美しい自然環境を保全・活用します	未来へつなぐ自然環境の保全と共生を図ります				43	未来へつなぐ自然環境の保全と共生を図ります
	5-2生活環境の整備・充実	44	ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します	環境にやさしい資源循環と処理体制の広域化を推進します				44	環境にやさしい資源循環と処理体制の広域化を推進します
		45	生活衛生環境の向上を図ります	すこやかな暮らしを支える生活環境を整備します				45	すこやかな暮らしを支える生活環境を整備します
	5-3公園・緑地の整備・活用	46	快適に利用できる公園・緑地空間を提供します	にぎわいと癒しの緑地空間を創出します	表現変更 緑地空間⇒公園・緑地 空間		公園課	46	にぎわいと癒しの公園・緑地空間を創出します
地域力 を発揮 するまち	6-1市民と行政の協働のまち づくり	47	情報発信の充実を図ります	戦略的な情報発信と市民との双方向コミュニケーションを推進 します				47	戦略的な情報発信と市民との双方向コミュニケーションを推進 します
		48	市民協働のまちづくりを推進します	共創による持続可能な地域づくりを推進します	表現変更 共創による⇒協働による		市民協働課	48	協働による持続可能な地域づくりを推進します
	6-2健全な行政運営の推進	49	わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します	利用者目線に立った親切的な行政サービスを提供します				49	利用者目線に立った親切的な行政サービスを提供します
		50	新たな時代に対応できる行政運営を確立します	変化に強い柔軟で効率的な行政運営を確立します				50	変化に強い柔軟で効率的な行政運営を確立します
		51	持続可能な財政運営を確立します	中長期を見据えた財政の健全化と最適化を図ります				51	中長期を見据えた財政の健全化と最適化を図ります
	6-3広域行政を推進します	52	広域行政を推進します	広域連携による行政サービスの向上を図ります				52	広域連携による行政サービスの向上を図ります
	6-4地域力の再生・強化	53	市民のまちづくり活動を支援します	市民主体によるまちづくりへの継続的支援を行います				53	市民主体によるまちづくりへの継続的支援を行います

宇陀市総合計画後期基本計画（骨子案） 個別施策

目指すまちの姿 1 健幸なまち

施策の方向性

- 1－1 「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市」の実現
- 1－2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり
- 1－3 結婚出産子育て世代への魅力ある支援の充実
- 1－4 地域医療体制の充実

評価指標

- ①健康寿命
- ②1人あたりの国民健康保険の医療費
- ③15歳未満の人口比率

施策の方向性 1－1 「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市」の実現

現状

- ・宇陀市の高齢化率は42.1%（2020年国勢調査）、45.02%（2025年3月末現在 人口統計）であり、2030年には約49.6%（国立社会保障・人口問題研究所推計）まで上昇する見込み
- ・特定検診の受診率は2022年以降約35%と横ばいで推移
- ・新型コロナウイルス感染症は概ね収束したものの、インフルエンザ等の感染症予防対策は引き続き必要
- ・困窮とメンタルヘルスの不調を共に抱える世帯が増加するなど、相談内容の複雑化が進行
- ・「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市」の実現に向け一人ひとりが、自分自身の健康状態を把握し、日頃から健康づくりに取り組むことが重要
- ・心身ともに健康で、生きがいを感じながら豊かな生活を送ることができるよう、健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みを実施
- ・悪性新生物や生活習慣病の予防、早期発見早期治療のため、がん検診や特定健診、特定保健指導の実施及び受診勧奨
- ・こころの不調は精神疾患や生活苦、孤立等様々な要因が複雑に関係している。こころの健康づくりを継続的計画的に行うことが重要
- ・介護が必要になる要因は、加齢による筋肉の衰えや骨折などに起因した生活の不活発が大半を占めており、介護が必要となる状態を予防するため、運動の習慣化や身近な地域で実践できる「住民主体の集いの場」の創出を推進

課題

- ・一人ひとりが、自分自身の健康状態を把握し、日頃から健康づくりに取り組むことが重要となることから、働く若い世代や健康無関心層へのアプローチなどライフステージに応じた健康づくりを推進しヘルスリテラシーの向上を図る
- ・特定健診やがん検診の受診率、特定保健指導の実施率の向上
- ・感染症や交通事情により外出や他者との接触が制限された状況下でも、ICT等を活用した健康相談や体を動かす機会の創出
- ・介護が必要となる要因の一つである孤独・孤立や身体機能の低下による運動不足状態にある高齢者の把握や、高齢者が生きがいを持って生活ができる支援
- ・個々の関心の有無や経済状況による健康格差の解消
- ・困窮世帯、メンタルヘルス世帯が複合的に重なっている状況への対応
- ・困窮・心の問題等、複合化した問題を抱えている方・家族への支援

施策

施策１ 健康づくり活動による元気人口の増加を図ります

- ・健幸なまちづくりの取組みを通じて、全世代の元気人口の増加
- ・生活習慣病の罹患や重症化予防、骨折予防に向けた健康づくり活動の充実、講演会等の啓発
- ・健康に対する意識の向上による、ライフステージにあわせた病気による早世(65歳未満の死亡)や疾病の予防
- ・生活習慣病の早期発見、重症化予防のために、特定健康診査、各がん検診受診率向上にむけた取組みと人間ドック等の費用の一部助成
- ・ICTを活用した生活習慣病の保健指導や健康相談
- ・地域やボランティア組織など多様な活動主体による食生活を中心とした健康づくり活動の支援及び連携強化
- ・ストレスや心の悩みを抱えている当事者や家族に対する相談体制の充実、当事者だけでなく互いに支え合う地域づくりの推進

施策２ 高齢者の健康寿命の延伸を図ります

- ・孤独・孤立や身体機能の低下による運動不足状態で支援を必要とする高齢者の早期発見及び介護予防事業等への参加促進
- ・高齢者の運動機能低下の抑制、要介護状態の予防、生きがいを持って自立した日常生活の維持に向けた、KDB システム（国保データベースシステム）の活用による健康状態の改善・維持・悪化の遅延
- ・介護・介助が必要になった原因として多い骨折・転倒を防ぐための取組み
- ・高齢者の心身の課題の多様化に対応したきめ細かな支援の継続
- ・高齢者の介護予防の促進や、地域で自立した生活を送る元気な高齢者の増加に向けた、いきいき百歳体操やいきいきサロン等の通いの場を通した支え合いの地域づくりの推進

施策３ 感染症への備えを強化し、健康的な生活を守ります

- ・感染症の発症や重症化を予防するため、正しい知識の情報提供を図るとともに、予防に有効であるワクチンの予防接種の啓発や接種勧奨
- ・未知なる感染症危機に備えた行動計画の策定および訓練等の取組み

こんな事業を実施しています

- ・特定健康診査事業
- ・健幸アンバサダー養成事業
- ・認知症予防包括プロジェクト
- ・特定保健指導事業
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
- ・後期高齢者健康診査事業
- ・宇陀市医療講演会事業
- ・健康教室事業
- ・運動推進事業
- ・保健福祉施設(うだ健幸プラザ)運営事業
- ・新型インフルエンザ等対策行動計画の策定

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ・宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- ・ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画
- ・宇陀市自殺対策計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 1－2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり

現状（案）

- ・65 歳以上のひとり暮らしや夫婦のみ世帯が増加（2023 年介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）
- ・障害福祉サービス、介護保険サービスの利用は増加傾向、ニーズに対応できるサービスの確保が必要
- ・医療的ケアが必要な重度の障がいのある人が自宅で過ごせるよう家族の介護負担を軽減するため、医療的ケアが充実した居場所やレスパイト入院先が必要
- ・障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段に対する理解及びそれらを利用するための環境整備と通訳・支援者の確保
- ・高齢者が介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮し続けるためには医療と介護の包括的かつ継続的なサービス提供や関係者の連携体制の充実が必要
- ・「権利擁護」「成年後見制度」の認知度が低い
- ・少子化や高齢化の進行、地域のつながりの希薄化による社会的孤立等の影響により、介護や障がい、ひきこもり、生活困窮等の課題（案）が複合化し、単一の制度のみでは対応が困難であるため、断らない相談支援体制として関係機関と連携を図り、専門性を活かした支援
- ・8050問題、親が子どもの介護や生活を支えている場合の親（支援者）の高齢化

課題（案）

- ・障がい等の有無にかかわらず、相互の人格と個性が認められ、差異と多様性が尊重される共生社会の実現
- ・高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らすために、誰もが相互に理解を深め尊重し、支え合う意識の醸成
- ・元気な高齢者が、長年培った知識や経験、技術を活かすことができる機会や場所の創出
- ・医療的ケアが必要な重度の障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、医療的ケアの充実と居場所の確保
- ・民生委員児童委員、認知症サポーター、市民ボランティア等の地域福祉の担い手との連携強化や活動しやすい環境づくり
- ・断らない相談支援体制において、制度につなげるだけではなく社会参加や地域とのつながりに向けた支援
- ・認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分なことにより、財産の管理や日常生活等に支障がある人を社会全体で支え合うため、成年後見制度の推進
- ・身寄りのない高齢者等の生活上の課題に関する包括的な相談窓口の設置等のおひとりさま支援8050問題の解決
- ・宇陀市介護老人保健施設さんとおぼろは、物価や人件費高騰が続く中で価格転嫁ができない介護報酬制度により経費が経営を圧迫
- ・宇陀市介護老人保健施設さんとおぼろの収支バランスの均衡化
- ・2025年問題に伴う市内唯一の介護老人保健施設の維持

施策

施策4 すべての人が自分らしく暮らせるまちを実現します

- ・うだ健幸プラザが健康・医療・福祉・介護のワンストップ相談窓口となり、個別のニーズに応じた包括的なサポートを実施
- ・地域包括ケアシステムを深化・推進し、高齢者や障がいのある人をはじめ、だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくり
- ・認知症対策、介護予防、在宅医療と介護の連携を推進し、介護が必要となった高齢者等のニーズに応じた介護サービスや見守り等の支援を行うとともに、その家族を含めた相談支援体制の充実に向け、医療機関や介護サービス事業者、社会福祉協議会等の連携強化
- ・高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できるよう、宇陀市シルバー人材センターや老人クラブ等の活動の支援
- ・障がいのある人が自立した生活ができるよう、相談支援センター等の相談窓口を充実し、日常生活や就労など社会参加の機会を促すための障害福祉サービスの充実など、支援体制の強化
- ・重度の障がいのある人の医療的ケアのニーズを把握し、福祉、保健、医療と連携した安心して過ごせる居場所づくり
- ・障がいの有無にかかわらず、人格や個性を尊重し合えるよう手話等障がいの特性に応じたコミュニケーション手段に対する理解と利用促進
- ・障がいに関する啓発や関連団体の活動支援等により、障がいや障がいのある人に対する理解を深め、地域活動等への参加の支援
- ・身寄りのない高齢者等の生活上の課題に関する包括的な相談窓口の設置、終活・死後事務支援。リハビリテーションの質の強化、在宅復帰率の向上（宇陀市介護老人保健施設さんとおぼろ原）

施策5 つながりを生かした支え合いの地域福祉を推進します

- ・ひきこもりや生活困窮など複合的な生活課題を抱えた人を支援するために、気軽に相談できる「断らない福祉相談支援体制」の充実にオール宇陀で取り組む
- ・地域福祉の中心的役割を担う社会福祉協議会やボランティア団体等の関係団体との連携の強化
- ・民生委員児童委員など地域の人たちによる見守りや助け合い活動
- ・生活困窮者の自立を促すために、自立相談支援員や就労支援員による就労準備や家計改善等を行いながら就労に繋がる支援と他法他施策活用の強化を図るとともに自立を促進
- ・成年後見制度等の普及や利用促進
- ・虐待予防のための相談体制の充実や発生時の迅速な対応、虐待を受けた子どもや障がいのある人、高齢者等が自立するまでの切れ目のない支援

施策6 暮らしに寄り添う医療費助成の活用を推進します

- ・子どもや心身に障がいのある人等に対して医療費の助成を行うことで、健康の保持と福祉の増進
- ・不妊や不育に対する治療費、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児の治療に必要な医療費等について助成を行い、経済的な負担の軽減

こんな事業を実施しています

- ・認知症総合支援事業
- ・意思疎通支援事業
- ・重度心身障害児（者）等居場所づくり事業
- ・保健福祉施設（うだ健幸プラザ）運営事業
- ・介護老人保健施設事業
- ・空調設備の更新事業
- ・断らない福祉相談支援体制の推進
- ・民生委員・児童委員活動費負担事業
- ・一般不妊治療・不育症治療費助成事業
- ・人間ドック、脳ドック助成事業（特別会計）
- ・認知症予防（オレンジチェック）事業
- ・意思疎通支援事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ・宇陀市障がい者計画
- ・宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- ・宇陀市介護老人保健施設さんとおぼあ榛原新経営戦略
- ・公立病院経営強化プラン
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- ・ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画

施策の方向性 1－3 結婚出産子育て世代への魅力ある支援の充実

現状（案）

- ・少子高齢化が進み、年少人口は 7.9%に減少
- ・核家族化や地域のつながりの希薄化により、子育ての知恵や経験を家族や地域で共有する機会が減少
- ・榛原地域の幼保施設は築 40 年以上が多く、老朽化が進み、管理や運用が困難な状況であったため、榛原地域幼保連携型認定こども園を建設中
- ・大宇陀こども園等において、今後は計画的な大規模改修が必要
- ・2024 年 4 月に「こども家庭センター」を機能設置。発達が気にかかる子どもや要保護児童、ひとり親家庭などの相談支援に対応
- ・結婚から妊娠期、乳幼児期まで切れ目のない支援を行い、子育て世代が安心して育児できる環境整備
- ・支援が必要な子どもを支える場所として「こども第三の居場所」を開設

課題（案）

- ・老朽化した榛原地域の幼稚園と保育園を統合し、榛原地域幼保連携型認定こども園を整備、2026年4月に開設
- ・大宇陀こども園の長寿命化
- ・子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、豊かな想像力を育む保育・幼児教育の環境整備と質の向上
- ・市内4つのこども園を地域子育て相談機関として充実させ、気軽に子育て相談ができる場を提供
- ・新設するこども園内に「こども家庭センター」を設置し、母子保健や児童相談、子育て支援を包括的にサポート
- ・妊娠期から出産・子育てまで、切れ目のない相談支援や情報提供を実施し、母親の不安や孤立感の軽減を目指す
- ・こども家庭センターに専門職員を配置。こども園や要保護児童対策地域協議会などと密接に連携し、成長の過程で気になること・心配ごとの相談、要保護児童への対応、ひとり親家庭への自立支援、ヤングケアラー支援等を強化
- ・義務教育終了後の若者の居場所づくり
- ・すべての子どもが未来に希望を持ち、希望を実現する力を身につける

施策

施策7 質の高い支援で子育てしやすいまちづくりを推進します

- ・子どもたちが安心して過ごせるよう、榛原地域での幼保連携型認定こども園や保護者のニーズに応じた相談支援を提供することも家庭センターを運用
- ・仕事と子育ての両立を実現するために、病児・病後児保育、学童保育、ファミリーサポートセンターの利用促進など、多様な働き方にあわせて柔軟に利用できる子育て支援事業の充実
- ・医療機関受診やちょっとした買い物など、急な用事の時に気軽に利用できる駅前託児室の整備
- ・こども食堂、子ども第三の居場所、自主学习スペースなど、地域で安心して過ごすことの出来る「居場所」づくりの支援
- ・妊娠・出産時や小学校及び中学校入学を迎える世帯など子育て家庭への経済的な支援
- ・子育て支援の質向上

施策8 こどもの健やかな育ちと学びを支援します

- ・こども園で「三つ子の魂百まで」プロジェクトを推進し、成長に応じた質の高い教育保育の提供
- ・子育て中の保護者と子どもと一緒に過ごせる時間を持てるように、こども家庭センターや図書館等での読書活動や子育て講座等の開催
- ・本に親しむ習慣を育み、幼児の健やかな成長の支援
- ・こども家庭センターにおいて、すべての子どもとその家庭が抱える様々な問題（虐待・家庭内暴力等）に対して、母子保健と児童福祉の連携を図りながら、専門の職員による相談支援を強化
- ・福祉、介護、医療、教育等といった様々な分野が連携し、ヤングケアラーの早期発見を図り、重層的な支援を展開

施策9 妊娠から出産子育てまで切れ目ない支援を充実します

- ・妊婦の健康管理、異常を早期に発見することで、妊婦が安全安心に妊娠を経過し、出産できるよう支援体制の充実
- ・出産後の母親と赤ちゃんの心身のケアや育児サポートを行う産後ケアの充実
- ・乳幼児の健康診査、相談等を行い、必要に応じた発育発達支援
- ・こども家庭センターにおいて、子どもや保護者の心のケアを行うチルドレンケアカウンセラー派遣事業を実施。こども園、保育所との連携を強化し、子育ての相談支援体制を充実

こんな事業を実施しています

- ・子どもの第三の居場所づくり事業
- ・妊娠・出産包括支援事業
- ・子ども読書活動推進事業
- ・「三つ子の魂百まで」プロジェクト保育・幼児教育の環境整備と質の向上
- ・こども園・保育園給食無償化事業
- ・発達障がい支援事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市子ども読書活動推進計画
- ・宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- ・ウェルネスシティ宇陀市構想
- ・ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画

施策の方向性 1－4 地域医療体制の充実

現状（案）

- ・宇陀市立病院において、医師の確保及び地域医療部を開設し、訪問診療、移動診療車による巡回診療を実施
- ・相次ぐ開業医の閉院により、大宇陀地域では開業医が1院のみとなり、移動診療車により地域の医療体制を確保
- ・宇陀市立病院、地区医師会をはじめとする「医療」と「介護」の専門職の多職種連携により、切れ目のない医療と介護の提供体制を推進
- ・医療や介護に関わる多職種が情報連携できるネットワーク「宇陀けあネット」により、地域包括ケアシステムを推進
- ・医師等医療従事者の不足、働き方改革により救急医療体制がひっ迫しており、適正受診の必要性
- ・へき地医療拠点病院としてのへき地診療所への代診医派遣の強化

課題（案）

- ・宇陀市立病院を中心に、医療機関や介護事業所等との連携の強化
- ・開業医の高齢化後継者不足による閉院により、開業医がない地域での医療の確保
- ・医療や介護を必要とする高齢者等に対する支援人材確保
- ・子どもの急病に対応できる医療体制の確保
- ・高齢化に伴う医療費増加
- ・介護等の専門職の担い手不足の解消
- ・介護予防事業・健康づくり事業の担い手不足
- ・重層的支援体制整備などの相談支援体制の充実
- ・独居高齢者への対応
- ・医療提供体制の確保について（2040年問題への対応・医療従事者の確保）
- ・人件費高騰と物価高騰対応としての診療報酬増額改定未実施による病院経営悪化及び設備投資の困難化
- ・東部地域医療協議会における山添村、曾爾村、御杖村および東吉野村との連携強化

施策

施策 10 持続可能な医療提供体制の確保と ICT の活用を図ります

- ・宇陀市立病院が「面倒見のいい病院」としての役割を果たすため、地域包括ケアシステムの中核病院として、在宅医療や介護、民間医療機関等との連携を充実させ、奈良県東部地域の中核病院として機能の強化
- ・宇陀市立病院が、県東部の「へき地医療拠点病院」として、国民健康保険直営診療所等への代診医派遣、訪問診療、訪問リハビリテーション等の取組みの充実
- ・奈良県立医科大学から宇陀市立病院への医師の派遣を受け、地域医療体制の強化
- ・医療機関のない地域への移動診療車による巡回診療の実施
- ・巡回診療をきっかけとした地域の集いの場など、高齢者が安心して生活ができる仕組みづくり
- ・宇陀市立病院で勤務する常勤医師など、医療従事者の確保を図り、安心して暮らせる環境づくり
- ・国民健康保険直営診療所において、地域の医療の確保を図るとともに、高度な医療が必要な場合、早期治療が行えるよう宇陀市立病院との連携の強化
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者の健康増進及び総医療費の削減
- ・地域医療の継続と医療従事者の安定化を図るための施策
- ・医師増員など医療従事者確保による地域医療提供体制の強化
- ・休日や夜間における小児や妊婦等の救急医療について、県内で広域的に対応ができる体制の維持

施策 11 医療介護福祉の切れ目ない連携を推進します

- ・介護等を受けている治療の必要な人が、安心して病院へ入院し、回復後に切れ目なく在宅療養ができるよう、病院とケアマネジャー、地域包括支援センター等との連携強化と環境づくり
- ・全国的にも先進的な取組みである宇陀けあネットでの情報共有について、加入事業所間の連携強化と環境づくりを図るとともに、近隣市町村の協力を得ながら一層の充実
- ・身寄りのない高齢者等が適切な医療・介護を受けることができるよう意思決定支援や入院・入所時の身元保障の支援
- ・おひとり様問題

こんな事業を実施しています

- ・宇陀市立病院事業（企業会計）
- ・第2期地域福祉計画推進事業
- ・宇陀市立病院の医療体制整備
- ・宇陀市立病院設備更新事業

こんな計画が関連しています

- ・ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画
- ・宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- ・宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ・宇陀市自殺対策計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

目指すまちの姿2暮らしやすいまち

施策の方向性

- 2－1 みんなが住み良いまちづくりの実現
- 2－2 移住定住の促進強化
- 2－3 公共インフラの持続的な整備維持活用
- 2－4 災害に備えた安全安心な暮らしの実現

評価指標

- ①人口の社会動態

施策の方向性 2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現

現状（案）

- ・ 2024年に実施した空き家等実態調査において、1,000戸以上が空き家候補と判定され、前回調査（2020年）の726戸から約1.5倍に増加
- ・ **市営住宅は築年数30年以上の物件が8割以上を占めるなど老朽化が進行**
- ・ 高齢者を狙った特殊詐欺や、通信販売の普及等に伴う消費者トラブルに関する消費生活相談は依然として多い状況が継続
- ・ 松山重要伝統的建造物群保存地区の歴史的まちなみ景観の維持・活用に向けた、町家等の建造物の修理修景への支援を継続的に実施
- ・ 防犯や交通事故防止に向けた、各種関係団体による啓発活動等の支援を実施
- ・ インターネット上の宣伝広告や、オンラインショッピングでの消費生活相談が増加
- ・ 通学路の安全確保を図るため、関係機関と連携して合同点検を実施
- ・ 公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の修繕管理の実施

課題（案）

- ・ 自然や歴史文化と調和した景観形成や環境と経済が両立した住みやすいまちづくりの推進
- ・ 管理が十分にされていない空き家に対する景観保全
- ・ 今後も増加が予想される空き家の利活用
- ・ 防犯や交通事故防止のための取組みの継続
- ・ 子どもたちを危険から守るために通学路等の迅速な安全の確保
- ・ 最近の傾向を受けて、インターネットを中心とした消費生活相談の体制の継続
- ・ 市営住宅の集約除却や適切な維持管理

施策

施策 12 自然と共生する景観環境の保全と活用を図ります

- ・本市の魅力である「緑が多く自然が豊かな」住環境の維持に向けた、自然環境に配慮した持続可能なまちづくりの推進
- ・松山重要伝統的建造物群保存地区や室生寺門前町など各地域の特性に応じたまちなみ景観の維持
- ・空き家等の所有者に対して適正な管理指導を行い、景観環境への配慮や市民生活の安全対策、空き家情報バンクへの登録等の推進
- ・景観環境の保全、市民生活の安全を確保するため、空き家等の所有者に対する適正な管理指導や空き家の除却を行う所有者に対する支援
- ・空き家になる恐れのある住宅が空き家となった場合、早い段階で利活用できるよう所有者の意向を登録した制度（空き家情報バンク事前登録制度）の周知と登録の推進

施策 13 地域と連携した安全安心な暮らしを確保します

- ・通学路等の安全確保、交通事故の未然防止に向けた、キッズゾーンの拡充や交通安全施設の整備の継続
- ・交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣付け等の交通安全意識の向上に向けた、関連団体が行う啓発活動等の支援継続
- ・子ども達の登下校時の安全確保など、地域による見守り活動の推進
- ・空き巣等の犯罪に対し、防犯意識を高める啓発活動の継続
- ・犯罪を抑止するための防犯設備等の整備促進
- ・地域と警察等が連携した地域防犯体制の整備
- ・特殊詐欺やデジタル化による消費者トラブル等の被害発生を未然に防ぐため、関係機関との連携、相談窓口の強化、安全安心メールでの情報提供等による消費者の保護の実施
- ・市営住宅の長寿命化に向け、施設の計画的な改修

こんな事業を実施しています

- ・市営住宅長寿命化計画の策定
- ・通学路安全対策推進事業
- ・室生口大野駅周辺地区公共的機能検討事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市空家等対策計画
- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画
- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市通学路交通安全プログラム
- ・歴史的風致維持向上計画
- ・宇陀市公営住宅等長寿命化計画

施策の方向性 2-2 移住定住の促進強化

現状（案）

- ・宇陀市では少子化の進展や就学・就職等による転出者が転入者を上回る人口の社会減少が進行
- ・コロナ禍を契機とした働き方改革・新たな生活様式の浸透に伴う、テレワーク・二拠点居住等を活用した都市部から地方移住への関心が上昇
- ・定住促進に向けて、移住定住者に対する助成の実施
- ・田舎での生活へのあこがれなど、移住に関する問い合わせが、コロナ前より増加しており、東京や大阪等での移住相談会、オンラインによる移住相談を実施
- ・古民家を活用した移住体験施設「じゅうだハウス」を整備
- ・宇陀市での生活を体験できる移住体験施設を設置

課題（案）

- ・産業ゾーンとして位置付けられている市街化調整区域の土地活用の促進による働く場の確保
- ・仕事と子育てを両立できる働く場の確保による就職に伴う転出の抑制
- ・宇陀市の自然環境・歴史文化資源・周辺地域への好アクセスなどの魅力を伝える情報発信の強化
- ・移住体験施設の周知及び利用促進による移住定住を促進
- ・増加している空き家に関する相談に対して紹介できる物件が少ないことから、空き家情報バンク制度の周知と登録物件の増加
- ・市内での起業や多様な働き方に対応した支援や環境の整備
- ・子育て支援の充実による安心して妊娠や出産ができる環境の創出
- ・人口減少に対応したまちづくり・土地利用の推進

施策

施策 14 地域の特性に応じた土地の有効利用を促進します

- ・住宅地や商業地、工業地等の健全な発展と秩序ある整備の推進及び農地や森林地域などの自然環境の保全と活用
- ・市街化調整区域における地区計画制度の活用による土地の有効利用や社会経済活動の推進
- ・土地を有効利用するため、地籍調査の推進
- ・県市まちづくり基本計画の推進

施策 15 移住定住者が安心して暮らせる支援と空き家の利活用を推進します

- ・移住体験施設「じゅうだハウス等で宇陀市の良さを知ってもらい、体験してもらうとともに市外へも宇陀市の魅力を広く発信
- ・移住定住者や関係人口の増加を図るため、移住や二地域居住、定住に向けた活動を行う団体の支援と連携
- ・空き家の有効利用に向けた、空き家所有者への空き家情報バンク制度の周知・利用促進及び人口減少の歯止めと定住化に向けた、移住定住者や空き家の利活用に対する支援
- ・市内の起業、空き家・空き店舗を活用支援の充実
- ・子育て世代の定住促進に向けた、市内への移住・定住の支援や、出産時・小学校中学校入学時など子育てのステージの変化に応じた経済的な支援の実施多様な働き方に対応したサテライトオフィスの活用や一時預かり保育、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターの利用促進など、子育て支援事業の継続

こんな事業を実施しています

- ・空き家情報バンク事業
- ・空き家活用推進事業（家財道具等処分）

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市立地適正化計画
- ・宇陀市公共施設等総合管理計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市歴史的風致維持向上計画

施策の方向性 2-3 公共インフラの持続的な整備維持活用

現状（案）

- ・人口減少や少子高齢化による通勤・通学者の減少により地域公共交通の利用者が減少
- ・橋梁やトンネル、道路の舗装面に経年による劣化が進行
- ・国や県の道路計画において国道165号（中和津道路）が「新広域道路交通計画」において広域道路ネットワークとして位置付けられる
- ・地域福祉計画策定時のWSでは高齢者の移動確保の要望が市内4地域全てから上がったほか、子育て世代の座談会でも保護者の送迎負担の要望が上がるなど移動に不安を抱えている市民が多い
- ・人口減少や節水機器の普及等により、下水道料金収入の伸びが停滞
- ・通勤や通学、通院、買い物等の移動手段となる市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等の運行に対して支援

課題（案）

- ・劣化が進行している道路や橋梁トンネルの計画的な維持補修
- ・災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点や緊急輸送道路の整備
- ・人口減少や施設の老朽化等に対応する安定した下水道の経営基盤の構築
- ・自治会の高齢化に伴い協力頂いてきた作業（草刈り）等が出来なくなることにより道路の維持管理等が増える。
- ・高齢化等に伴う交通弱者の増加、ニーズの多様化
- ・交通弱者の移動手段の確保、維持
- ・運転手不足による公共交通サービスの制約
- ・燃料費、人件費などの高騰に伴う公共交通に係る経費の増加下水道施設の老朽化が進行し、その機能を維持するための改築・更新に必要な費用の増大

施策

施策 16 地域の暮らしを支える安全快適な道路の整備を図ります

- ・市内道路網の維持及び安全性確保に向けた、インフラメンテナンス事業（道路舗装補修など）の推進
- ・国道 165 号（中和津道路）が重要物流道路の指定を目標として、早期の事業化がなされるよう、近隣自治体と連携し国や県へ働きかけの実施
- ・県道の狭隘な区間の解消に向けた、県への要望の継続
- ・橋梁やトンネルの計画的な長寿命化や落石対策等の危険の未然防止
- ・カーブミラーや防護柵、街路灯等の交通安全施設を整備し、安心して利用できる道路環境づくり

施策 17 地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保を図ります

- ・住民生活を支える、持続可能で柔軟な交通ネットワークを構築
- ・一次交通（鉄道や路線バス等）と接続する二次交通（市営有償バス、デマンド型乗合タクシー等）を強化し、持続可能な交通網を構築
- ・市営有償バスやデマンド型乗合タクシーなどの運行や事業者支援で、地域の交通網を維持・確保
- ・市民へのアンケート実施や地域との意見交換を通じ、住民参加による共助型交通を推進
- ・グリーンスローモビリティ等、新しい移動手段の導入の検討
- ・効果の検証と地域の実情に合った利便性の向上

施策 18 安心安全な下水道サービスの提供と適正な施設管理を推進します

- ・良質な下水道サービスの持続的な提供に向けた、ストックマネジメント計画に基づく下水道施設のライフサイクルコストの低減化
- ・持続可能な下水道事業運営の推進
- ・下水道施設を計画的かつ効率的・効果的に維持管理
- ・快適な生活環境ならびに水環境の保全

こんな事業を実施しています

- ・中継ポンプ場更新工事
- ・国道 165 号（中和津道路）整備推進事業
- ・下水道管路・施設更新事業
- ・下水道マンホール鉄蓋更新事業
- ・下水道施設点検調査事業
- ・下水道ストックマネジメント計画策定業務委託
- ・管路実施設計業務
- ・デマンド型乗合タクシー運行事業
- ・奈良交通バス運行対策費負担金事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・宇陀市橋梁長寿命化修繕計画
- ・宇陀市トンネル長寿命化修繕計画
- ・宇陀市地域公共交通計画
- ・宇陀市流域関連公共下水道事業計画
- ・宇陀市下水道ストックマネジメント計画
- ・宇陀市下水道事業経営戦略
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市地域防災計画
- ・宇陀市国土強靱化地域計画

施策の方向性 2-4 災害に備えた安全安心な暮らしの実現

現状（案）

- ・宇陀市全域が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定
- ・宇陀市内には、土砂災害のおそれのある土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に 1,794 箇所、また土砂災害が発生した場合、建築物を損壊し、著しい危害が生じるおそれのある土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に 1,666 箇所が指定
- ・地球温暖化が原因とされる気象の急変や台風集中豪雨等の自然災害の頻発化激甚化に伴う被害リスクが増加
- ・コロナ禍を契機として避難所における感染症対策の必要性が向上
- ・高齢化の進行に伴い災害時に支援を必要とする要配慮者が増加
- ・防災行政無線の老朽化が進行
- ・自主防災組織の結成や資機材の整備を実施
- ・消防車両の計画的な更新による消防団の体制強化を実施
- ・導入から 10 年が経過し、機器などの修繕など維持管理を実施

課題（案）

- ・防災行政無線の更新等、災害時における情報伝達の強化
- ・住宅の耐震化の必要性に関する市民への啓発、耐震改修の促進
- ・自治会や自主防災組織等の地域主体の防災訓練等を充実させ、自助共助の意識の向上を図るとともに、公助を合わせた防災減災体制の構築
- ・避難所の整備や資機材の拡充、備蓄品の更新
- ・国や県と連携した土砂災害対策事業の推進
- ・避難行動要支援者の早期避難や安否確認等の充実
- ・災害時における関係機関との連携体制の強化
- ・防災行政無線の対応年数を経過した機器・部品の更新
- ・耐震改修の推進

施策

施策 19 災害への備えと暮らしの安全確保を図ります

- ・風水害や地震新型コロナウイルス感染症等の情報を発信するため、自主放送「うだちゃん 11」や安全安心メール、ホームページ等の迅速な伝達手段の充実
- ・今後、発生が予想される南海トラフ地震に備え、避難所となる公共施設やインフラ施設の耐震化
- ・土砂災害特別警戒区域での土砂災害や大規模地震の発生時においても安全な暮らしを確保するため、既存の住宅の改修等に対する支援の充実
- ・国や県と協働し、急傾斜地への崩壊防止施設の設置や地すべり対策工事、土石流等の防止のための砂防堰堤の設置等の防災措置の推進
- ・安全安心メールや防災行政無線などの情報伝達ツールの強化、更新
- ・避難所強化及び、災害への備え
- ・耐震改修の推進

施策 20 地域防災力の強化と消防体制の安定的な維持充実に努めます

- ・地域の防災力向上のため、自主防災組織の結成や自主防災組織等の取組みへの支援
- ・地域内の連携強化と防災意識の向上を図るため、防災サポーター養成講座や官民共同による防災訓練等の充実
- ・避難所の感染症対策を講じ、安全で誰もが健康を維持できるよう整備を進めるとともに、防災資機材の拡充とローリングストック法に基づいた備蓄品の更新
- ・ハザードマップの周知を図るとともに、避難行動要支援者など支援を必要とする人を安全に避難誘導できるよう、福祉専門職等と連携を図り、個別避難計画の作成
- ・南海トラフ地震など大規模災害に対応するため、関係機関等と連携した支援体制の構築
- ・消防団員の確保に向けた啓発活動を行うとともに、火災や災害時の安全を確保するため、安全装備品の充実や消防車両の計画的な更新を行い、防災力の強化、処遇改善
- ・自治会、自主防災組織、まちづくり協議会の防災に関する啓蒙啓発

こんな事業を実施しています

- ・避難所設備強化事業
- ・防災情報等配信事業（安全・安心メール/FAX サービス）
- ・防災行政無線システム維持管理事業
- ・消防団員装備充実事業
- ・地域防災計画修正事業
- ・松山重要伝統的建造物群防災事業
- ・カンデ山公園法面安全対策事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市地域防災計画
- ・宇陀市消防団組織再編計画
- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・宇陀市耐震改修促進計画
- ・宇陀市国民保護計画
- ・宇陀市国土強靱化地域計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・松山重要伝統的建造物群保存地区防災計画

目指すまちの姿3 活力あるまち

施策の方向性

- 3－1 地域資源の保全及び産業と連携した活用
- 3－2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成
- 3－3 基幹産業である農林業の再生活活性化
- 3－4 商工業の再生活活性化
- 3－5 観光戦略の推進

評価指標

- ①地域資源を活かした商品開発数
- ②観光入込客数

施策の方向性 3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用

現状（案）

- ・宇陀市には日本遺産に認定された室生寺をはじめ、国・県・市指定の文化財や歴史的なまちなみ、歴史と文化の中で継承されてきた魅力的な行事等が存在
- ・松山地区伝統的建造物群保存地区の保存・活用、史跡宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大及び公有化に向けた取組みを実施
- ・伝統文化等の担い手が減少しており、保存継承が困難宇陀市産材の利用促進に向けた支援
- ・宇陀市の魅力をブランドとして確立していくための情報を発信

課題（案）

- ・2017年の台風による被害を受けた史跡宇陀松山城跡の復旧工事の実施
- ・伝統文化等の継承に向けた担い手の育成
- ・豊かな自然・歴史・文化といった、宇陀市の魅力の発信及び有効活用
- ・宇陀の木など農林産物をはじめとした地域資源のブランド化による付加価値の創出や情報発信
- ・人口減少、高齢化に伴う文化財（有形・無形問わず）保護及び継承の担い手不足

施策

施策 21 歴史と文化を活かした地域の魅力づくりを推進します

- ・伊勢街道、街道沿いの旧旅籠「あぶらや」、室生寺門前等のまちなみを保存継承するとともに、近隣市村と連携した活用の推進
- ・歴史・文化資源の活用に取り組むとともに、歴史的まちなみや史跡の保護、整備の推進
- ・郷土の歴史や文化財、伝統文化に対する理解を深めるために埋蔵文化財や郷土資料等の展示、講演会・講座等の実施
- ・伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存や後継者育成を担っている団体の支援
- ・遺跡の発掘調査を行うとともに、保護対策を講じ、後世に郷土の歴史の継承
- ・国・県・市指定文化財の所有者が行う建造物等の保存修理や防災設備の設置・点検等への支援
- ・史跡宇陀松山城跡の災害復旧事業の推進
- ・史跡宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大及び公有化に向けた取組みを実施
- ・文化庁と協議を続けながら、未来に向けた保存調査が必要であり、市民が誇りを持ち、重伝建地区と連携を密にして、観光の拠点として、賑わいができるようにデジタル技術を用いて整備

施策 22 地域の魅力ある特産品や資源を「宇陀ブランド」として価値向上と発信を図ります

- ・市内事業者と連携し地場産品の広報や PR、造成及び販路拡大など、双方業務の相乗効果を図るため、地域商社機能を構築する
- ・自然歴史、文化景観、人材や技術などの多面的な分野における「宇陀ブランド」を商品化、サービス化につなげる
- ・都市部での販売を促進するため、販路の拡大
- ・市の特産品、名産品、技術も含め関係諸機関と連携しながら地元企業への支援を実施

こんな事業を実施しています

- ・史跡宇陀松山城跡保存整備事業
- ・文化財保存修理等補助事業
- ・文化財愛護団体支援事業
- ・重要伝統的建造物群保存地区保存事業
- ・歴史的風致維持向上計画推進事業
- ・地域商社運營業務

こんな計画が関連しています

- ・史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画
- ・史跡森野旧薬園保存活用計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市歴史的風致維持向上計画
- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画

施策の方向性 3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成

現状（案）

- ・高齢化が進む農林業の担い手が不足
- ・地域の資源を活かした起業に向けての活動を支援
- ・感染症などの影響により、テレワークなど、働き方が変化
- ・技術者の高齢化、後継者不足が深刻化している
- ・空き家や空き店舗を活用した起業・創業について、その改修等の費用を助成

課題（案）

- ・空き家・空き店舗の利活用の促進
- ・離農により発生している遊休農地の有効活用の促進
- ・働き方の変化や地方回帰への関心の高まりに応じた働く環境づくりの確保
- ・市内での就職を促進するために、雇用の拡大
- ・経営が不安定な就農直後の担い手に対する支援
- ・市内企業の専門人材の不足
- ・熟練を要する技術者の後継者不足
- ・高齢化による担い手不足

施策

施策 23 地域に活力をもたらす多様な人材の発掘と育成を図ります

- ・空き店舗の活用など起業に向けた支援の充実
- ・国の事業等を活用するなど、農林業の担い手の確保
- ・地域の未来を創る人材の定着と起業を後押しする支援
- ・多様な働き方に対応したサテライトオフィスの活用
- ・土地を有効活用し、既存事業所の規模拡大につなげ、雇用を確保できる環境づくりの推進
- ・新規就農者が安定して農業経営ができるよう支援
- ・企業等と連携して、地域資源を活かした雇用の場の創出

こんな事業を実施しています

- ・農業次世代人材投資事業
- ・エストニアとの交流による人材育成事業
- ・空き店舗施設改修等補助金事業
- ・サテライトオフィス運営事業
- ・地元企業人材育成支援事業

こんな計画が関連しています

- ・大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 3-3 基幹産業である農林業の再生活性化

現状（案）

- ・伊那佐東部地区に県東部で初の「特区」となる特定農業振興ゾーンが奈良県により設定
- ・中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払交付金事業等の活動を継続して行っている組織（集落）に対して支援を行っており、高齢化が進行
- ・若年層の農林業や農山村への意識の低下や後継者不足により、農林業経営が難航
- ・大和高原地域の恵まれた気候等により、宇陀市では有機農業が盛ん
- ・農業経営における農業用機械の更新費が負担電気柵等の設置により、イノシシの被害は一定の効果が出ているが、シカ等の被害が増加
- ・害獣駆除と企業活動を併せ持つジビエ利活用施設の活用の推進
- ・薬とゆかりのある宇陀市を薬草のまちとして推進するため、宇陀市薬草協議会と連携し、大和当帰等の栽培や薬草メニューの開発など薬草を活用したまちづくりを展開

課題（案）

- ・大宇陀南部地域の農業用水である宮奥ダムの老朽化対策
- ・農林畜産業の効率的で安定した経営の促進
- ・農林畜産物の安定した販売に向け、生産・流通体制の強化
- ・付加価値の高い農作物づくりの推進
- ・森林の保全を図り、林業施業の基盤の強化
- ・高齢化による担い手不足
- ・薬草を活用したまちづくりは、魅力ある商品開発の難しさ、知名度の低さ、観光や地域との連携が課題で、継続性のある取組みと発信力強化が必要

施策

施策 24 地域特性を生かした農地の活用と農業基盤の強化を図ります

- ・農業の担い手への農地の集約と集積を進め、スマート農業やデジタル技術の活用による次世代農業を推進することで、高収益作物への転換の促進
- ・伊那佐東部地区に設定されている特定農業振興ゾーンがモデル地区となる取組みを行い、県や大和高原南部土地改良区等との連携を図り、他地域にも設定されるよう生産性の向上
- ・農道の整備・維持を進めるとともに、農業用水路等の長寿命化や農地の保全等の活動に取り組む組織（集落）の支援
- ・安定した農業用水を確保するため、宮奥ダムの管理運営を行うとともに老朽化対策の実施
- ・遊休農地の解消

施策 25 農林業の担い手確保と経営力の強化を図ります

- ・東部農林振興事務所や大和野菜研究センターなど県との連携を図り、有機農業を推進するとともに、拠点の創出
- ・地域農業を支える担い手が安定した農業経営を行えるよう支援
- ・化学肥料・化学合成農薬の低減する取組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動（環境保全型農業直接支払交付金事業）の推進
- ・防除技術を持つ人材を育成し、地域ぐるみでの効率的な鳥獣害対策の支援
- ・シカ・イノシシを地域の資源と位置付け、良質な食肉として生産するためにジビエ利活用施設の活用の推進
- ・奈良県フォレストアカデミーと連携し、林業の担い手確保や活性化の支援
- ・畜産業では、奈良県と連携しながら、鳥インフルエンザや豚熱等の感染症対策の促進

施策 26 地場産品の高付加価値化と販路拡大を図ります

- ・農林産物品評会やうだ産フェスタを開催し、農林産物生産者等の営農意欲や生産品の品質の向上
- ・宇陀市薬草協議会との連携により、大和当帰やセネグ等の薬草栽培を推進するとともに、薬草のまちとして薬草の魅力の発信
- ・宇陀市産木材を利用した新築や増改築に対して支援を行うとともに、宇陀の木のブランド化や間伐材の利用の推進
- ・農産物直売所等において、農林畜産物や特産品等を販売するなど流通体制の強化

施策 27 森林資源の循環活用と適正管理を推進します

- ・林業の中核的な存在である森林組合と連携した森林整備の推進
- ・作業路の開設など森林施設の効率化や間伐を推進し、森林の多面的機能の維持
- ・森林施設の集約化に必要となる山林境界の明確化の推進
- ・里山の針葉樹林を広葉樹に転換するなど、水源涵養機能等の維持

こんな事業を実施しています

- ・オーガニックビレッジ推進事業
- ・ジビエ利活用施設設置事業
- ・薬草を活用したまちづくり事業

こんな計画が関連しています

- ・大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 3－4 商工業の再生活活性化

現状（案）

- ・大和高原の玄関口である榛原駅周辺では、未利用地やビルの空き室が目立つ
- ・ウッピー商品券やプレミアムハッピー商品券を発行し、個人の消費喚起を促し、地域経済を活性化
- ・経営者の高齢化が進み、後継者不足による廃業が発生
- ・宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会を中心とした商品開発や販路拡大に取り組む地場産業である毛皮革産業の育成・振興を支援
- ・市内には、都市部などを中心に取引を行ったり、特定の分野で販路拡大を成功している事業者が存在

課題（案）

- ・榛原駅周辺の未利用地やビルの空き室等の有効利用
- ・働く場の確保のため、産業ゾーンとして位置付けられている市街化調整区域の土地の活用
- ・既存事業所が有する技術を生かし、時代に即した新たな分野への進出の促進
- ・既存事業所の事業承継や事業活動に対する支援
- ・感染症の感染拡大など予測不能な事態に備え、事前対策を促進し、事業継続力の強化の支援
- ・今後の宇陀市の地域経済を支えていくために、農林畜産業や地場産業の振興とともに、既存事業者への支援や新たな企業の誘致
- ・創業や企業誘致による事業所の増加の推進
- ・経営者の高齢化による後継者不足

施策

施策 28 駅前を人と人がつながる交流拠点として活性化を図ります

- ・大和高原の玄関口となる榛原駅前の広場や施設を活用してマルシェ等を開催し、にぎわいと交流の拠点づくり
- ・大都市に近い立地や豊かな自然を活かして、駅前や駅前商店街のにぎわいづくり

施策 29 地元事業者の成長支援と事業承継を促進します

- ・地場産業である毛皮革産業の振興を図るため、奈良県等と協力し、商品開発や販路拡大、及び工場団地機能の充実
- ・宇陀商工会と連携して、ウッピー商品券やプレミアム商品券を発行することで地域経済の活性化
- ・経営相談や事業承継等の商工会の活動の支援
- ・奈良県信用保証協会や金融機関と連携した事業経営に対しての支援

施策 30 地域に根差す産業の創出と企業誘致を推進します

- ・企業を誘致しやすい基盤整備を図るとともに、自然が豊かで大都市に近い便利な田舎を活かした企業誘致
- ・榛原駅周辺ビルの空き室を活用したサテライトオフィスの活用や空き店舗等での起業に対する支援
- ・自然環境や歴史文化資源に恵まれた宇陀市でのワーケーションの推進
- ・奈良県や宇陀商工会と連携して、市内で創業する事業者の支援
- ・エストニアとの連携を起点とした次世代技術等の企業誘致
- ・公民連携まちづくりプラットフォームによる新たな経済活動やサービスを創出するコンソーシアムの組成

こんな事業を実施しています

- ・榛原駅前交流施設運営事業
- ・毛皮革産業振興支援事業
- ・公民連携まちづくり推進事業
- ・薬草を活用したまちづくり事業
- ・サテライトオフィス運営事業
- ・企業誘致推進事業
- ・中小企業等支援事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市空家等対策計画

施策の方向性 3-5 観光戦略の推進

現状（案）

- ・宇陀市の知名度は全国的には高くないが、「宇陀ソムリエ検定」の受験者数が増加するなど、市独自の取組により PR の成果が徐々に現れている状況
- ・薬草、温泉、オーガニックなどの地域資源が豊富であり、ウェルネス・ヘルスツーリズム等の新たな観光資源や体験プログラムの活用可能性
- ・道の駅大宇陀・道の駅宇陀路室生をはじめ、保養センター美榛苑、あきののゆ、ワールドメイプルパーク等の観光拠点や室生寺や松山伝統的建造物群保存地区、室生山上公園芸術の森等が主な観光客の受入機能を担う
- ・又兵衛桜や仏隆寺の千年桜、内牧区民の森など、桜の名所が市内各地に点在しており、新たな「桜のまち」として認知
- ・室生龍穴神社や吉祥龍穴、龍王ヶ淵など自然景勝地への来訪者が増加しており、観光地として注目を集めている
- ・歴史資源や古道を活かした「伊勢本街道魅力創出事業」が展開されており、地域住民の参画による新しい観光地づくり
- ・一部施設では老朽化や運営の課題があるものの、施設の再整備や指定管理制度の活用による持続可能な運営体制の構築

課題（案）

- ・全国的な知名度やブランド力不足
- ・都市圏の潜在的な来訪者に対する情報発信や魅力の訴求が不十分
- ・短時間・短期間の滞在にとどまる観光客の消費や滞在時間の拡大の必要性
- ・観光コンテンツの不足と地域資源を活かした「宇陀らしさ」の体験型・滞在型プログラムの充足
- ・伊勢本街道活用の課題と関連コンテンツ不足による回遊性や魅力の低さ
- ・観光協会の自主性や民間事業者との連携不足による観光地域づくり法人（DMO）の機能強化
- ・観光分野におけるデジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）の遅れ
- ・情報発信・予約・顧客分析等の機能向上
- ・インバウンド観光の対応不足による外国語案内や受入体制整備
- ・宿泊施設の老朽化や不足による宿泊観光への制約
- ・観光拠点施設の老朽化と改修・再編による運営体制の見直しの必要性
- ・室生地域などで顕在化するオーバーツーリズムによる地域住民の生活環境への影響
- ・室生口大野駅を中心とした観光機能の充実

施策

施策 31 地域資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進します

- ・薬草・オーガニック・歴史・自然といった地域資源を核とした宇陀の魅力を体系的に発信し、宇陀らしさを活かした観光ブランドの確立
- ・桜や紅葉などの季節観光に加え、薬草体験、里山散策、伝統文化体験などを組み合わせた体験プログラムを開発するなど、滞在型・体験型観光への転換
- ・保養センター美榛苑の大規模改修・廃止・譲渡・売却などの選択肢を含めた再編方針を整理するとともに、宿泊施設の活用に対する改修補助制度の導入や、民間事業者の誘致など宿泊機能の再構築と多様化の推進
- ・伊勢本街道を軸とし、着地型観光や周遊観光を目的とする観光客の増加を目指した歴史・文化観光の展開
- ・観光拠点施設である道の駅大宇陀、道の駅宇陀路室生、あきののゆ、美榛苑等の既存施設の戦略的再整備
- ・室生エリアをはじめとする自然観光地でのオーバーツーリズム対策として、交通・駐車場対策、受入ルールの整備、住民との協働による持続可能な観光地づくり（サステナブル・ツーリズム）の実現
- ・観光協会の再編・機能強化を進めるとともに、戦略チームの設置や地域人材の育成により、地域が主体となる観光経営体制の構築
- ・観光と交通の連携

施策 32 滞在交流を促す観光による関係人口の創出を図ります

- ・曾爾村・御杖村・東吉野村等と連携した周遊観光ルートを構築するなど、大和高原エリアとの広域観光連携の強化
- ・観光を契機に地域とのつながりを深める仕組みを整備し、都市住民との関係人口の創出や、移住・定住につながる交流促進策との連携

施策 33 効果的な観光プロモーションと地域の魅力を伝える情報発信を推進します

- ・観光ポータルサイトや SNS による情報発信の強化、多言語対応、予約・キャッシュレス対応の導入により、国内外からの来訪者の利便性を高め、観光における DX・インバウンド対応の推進

こんな事業を実施しています

- ・観光誘致促進事業
- ・伊勢本街道魅力創出事業
- ・うだソムリエ検定事業
- ・大和高原（東吉野）観光振興協議会負担金

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市観光基本計画
- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市歴史的風致維持向上計画

目指すまちの姿4生涯輝くまち

施策の方向性

- 4－1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
- 4－2 子どもたちの教育環境の充実
- 4－3 多様な学びの場の整備充実
- 4－4 スポーツ芸術文化の振興

評価指標

- ①自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合
- ②今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合
- ③市内主要施設の年間利用者数

施策の方向性 4－1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現

現状（案）

- ・人権のまちづくりを目指して、市内 23 の地区組織や各種団体等により構成する宇陀市人権教育推進協議会を中心に、人権教育・啓発を行う
- ・性的指向や性自認の違いを多様性として認め合い、互いに人権を尊重し、自分らしく生きることができる社会の実現に向けて、「宇陀市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を導入
- ・誹謗中傷等のインターネット上の違法・有害情報に対処するため、「情報流通プラットフォーム対処法」に施行
- ・同和地区に関する問い合わせや、インターネットによる人権侵害が依然として存在し、また、LGBTQ など性的マイノリティの人に対する偏見といった問題も発生
- ・人権に関する相談に対応するため、人権擁護委員や民生委員・児童委員等との連携により人権相談を実施しているほか、女性専門相談員によるDV相談を実施
- ・誰もが輝くことのできる社会の実現を目指して、地域団体と連携しながら、啓発活動及び学習活動を実施

課題（案）

- ・人権問題の解決に向けた人権教育・啓発のさらなる推進のため、関係機関・団体等との連携強化
- ・多様化・複雑化する人権相談に対応するため、関係機関との連携強化、相談員の資質向上
- ・DV 等の暴力の防止に向けた取組みの充実
- ・男女が対等に生きる意識と社会環境づくり
- ・多様な働き方ができる職場環境づくり
- ・人権と多様性を尊重できる社会意識づくり

施策

施策 34 多様性と人権が尊重される地域づくりを推進します

- ・あらゆる分野において多様性を個性として認められ、誰もが尊重されるインクルーシブ社会の実現
- ・家庭や学校、地域、職場等あらゆる場で、人権意識を高めることができるよう人権教育・啓発を推進し、部落差別をはじめとするあらゆる差別や人権侵害事象の防止
- ・性の多様性に対する正しい知識と理解が広がる意識啓発と意識改革
- ・人権問題における様々な相談に対して、国や県、民間団体等との連携・協働を図りながら、支援体制の充実
- ・人権交流センターを人権と福祉の拠点施設として位置付け、講座等による交流や人権・生活・就労等の相談事業の充実
- ・地域における『福祉と人権のまちづくり』の拠点としての効果的で持続可能な人権交流センター事業の展開

施策 35 ジェンダー平等により誰もが対等に参画できる社会を実現します

- ・すべての人が平等と思える社会の実現のための広報・啓発活動
- ・社会のあらゆる分野に様々な価値観と発想を取り入れるため、施策や方針、意思決定過程への性別にとらわれない人材の参画の促進
- ・男女間のあらゆる暴力の根絶に向け、被害者が安心して相談でき、かつ必要な支援を適切に受けられるような体制の充実

施策 36 多様な働き方と暮らしの両立を支援します

- ・あらゆる分野への男女共同参画の推進
- ・働き方と環境整備による仕事と家庭生活の両立
- ・困難な問題を抱える女性に対する支援

こんな事業を実施しています

- ・室生人権交流センター改修事業
- ・人権施策基本計画推進事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市人権施策基本計画
- ・宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- ・宇陀市特定事業主行動計画
- ・宇陀市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画
- ・宇陀市教育大綱
- ・宇陀市男女共同参画計画
- ・宇陀市生涯学習振興指針
- ・宇陀市学校教育の指導方針
- ・宇陀市いじめ防止基本方針
- ・宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 4-2 子どもたちの教育環境の充実

現状（案）

- ・「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」は、小中学生ともに全国平均をやや上回り、「全国学力・学習状況調査」は、小中学生ともに全国平均をやや下回る傾向
- ・誰一人取り残さない、持続可能でよりよい地域社会の実現の推進と健やかな心身・安全な生活を保持増進できる子どもの育成を推進
- ・学校給食で提供されている献立を競う全国学校給食甲子園において、学校給食センターは準優勝を獲得するなど、食育の啓発や地産地消を推進
- ・外国語指導助手の配置や ICT 環境の整備により、国際化やデジタル化社会に対応できる人づくりを推進
- ・課題を抱えた子どもを支援する専門職の配置等により、安心して通うことができる教育支援体制を推進
- ・就労等により保護者が昼間、家庭にいない児童に小学校の空き教室を利用した学童保育を実施
- ・児童生徒の減少やニーズの多様化に応じた柔軟な学びに対応する教育環境をつくるために学校の適正化を推進
- ・学校施設の効率的な改修等を進めるため、学校施設長寿命化計画の見直しの実施

課題（案）

- ・基礎的・基本的な知識・技能のみならず、課題を解決するために必要な情報を精査し、根拠を明確にして説明する等の思考力・判断力・表現力の育成
- ・外国語教育やデジタル化に対応した教育をはじめ、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成
- ・課題を抱えた子どもたちやその保護者を支援する支援員や相談員、専門職の配置の充実
- ・学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、ライフサイクルコストの縮減など、中長期的な視点から財政負担の軽減・平準化
- ・アントレプレナーシップの育成を軸とした持続可能な地域づくり
- ・保護者や市民の意見を踏まえた学校の適正配置とともに、学びの多様化に対応するための学習環境整備について検討
- ・児童生徒数の減少に伴う学校の適正配置とともに、学びの多様化に対応するための学習環境整備についての検討

施策

施策 37 児童生徒の生きる力と社会性の育成を図ります

- ・学ぶ意欲を引き出し、家庭学習の定着を図るとともに、「どの子どもにもわかる授業」の実現に向けた教職員の資質・能力の向上
- ・確かな学力を身に付けるため、国や市の学力調査の活用
- ・他者の思いや意見、考え方を尊重することのできる豊かな人権感覚を持った子どもの育成
- ・「使える」外国語教育の充実を図り、国際的視野を広めるとともに、プログラミング教育による情報活用能力や科学的思考力の向上
- ・学校と家庭が連携したいじめや不登校の未然防止、早期発見、早期解決を支援するとともに、スクールカウンセラー等の教育相談等を通した子どもの発達や不登校児童生徒の自立の支援
- ・GIGAスクール構想により整備した一人一台の学習用PC等のICT機器の効果的な活用と情報モラル教育の充実
- ・利用人数に対応した学童保育を行うとともに、保育を実施する支援員の質の向上
- ・主体的に活動する子どもの育成に向けたアントレプレナーシップ教育の推進
- ・他地域、国際交流による人材育成
- ・企業との連携による人材育成
- ・学校給食における地産地消の促進と、食育の推進及び、子ども達に給食を通じて食に関わる物や人に対して感謝する心や想いを育む授業、イベント等の継続した取り組み

施策 38 安心して学べる教育環境を整備します

- ・保護者や地域住民、学校、教育委員会の連携・協働による小・中学校の適正化
- ・小・中学校校舎や屋内運動場の大規模改修、LED化、長寿命化、バリアフリー化等の施設整備
- ・安全で安定したスクールバスの運行及び車両の年次的更新
- ・不登校児童生徒の意思を尊重しつつ、個々の子どもの状況に応じた支援がおこなえる、誰一人取り残されない多様で適切な教育機会が提供できる学びの場の整備・充実を図る
- ・学校給食における地産地消の促進と、食育の推進および、子どもたちに給食を通じて食に関わる物や人に対して感謝する心や想いを育む授業、イベント等の継続した取り組み

こんな事業を実施しています

- ・学校給食地産地消促進事業
- ・教育支援センター（はばたき教室）
- ・アントレプレナーシップ教育の推進
- ・学校適正化推進事業
- ・GIGAスクール構想事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市教育大綱
- ・宇陀市学校教育の指導方針
- ・宇陀市いじめ防止基本方針
- ・宇陀市学校施設長寿命化計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市学校適正化基本計画

施策の方向性 4-3 多様な学びの場の整備充実

現状（案）

- ・生涯学習の拠点となる中央公民館と地域の分館で、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学びの場を提供
- ・図書館は、蔵書の充実を図るとともに、電子図書館の開設や図書消毒機の導入など、コロナ禍での読書環境を整備
- ・大和富士ホールは、住宅地の中にあるということもあり、市民の教育文化の向上と生涯教育の増進を図る施設として、幅広い年齢層が利用
- ・SNSの普及により、人間関係の希薄化やインターネットを悪用した問題行動の発生など、青少年を取り巻く環境が大きく変化
- ・家庭や地域、学校の連携により、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支える取組みを実施
- ・学校・家庭・地域の連携・協働による「地域と共にある学校づくり」を推進
- ・エストニア等との連携を通じて、地域外・海外とつながる経験が子どもたちの視野を広げている

課題（案）

- ・中央公民館等の各社会教育施設の老朽化対策
- ・様々な生涯学習活動や地域ぐるみ・世代間の交流を通じて、人とのつながりや人を思いやる心を育む機会の提供
- ・青少年が SNS を含むインターネットについての正しい知識を身に付けるよう普及啓発など、青少年健全育成環境の充実
- ・地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える学校と地域の連携強化
- ・施設の老朽化に伴う要修繕箇所の対応
- ・過疎化・少子高齢化社会による人口減少等から、市内公民館利用者の減少が予想され、そのことが公民館活動・社会教育の発展に大きく影響
- ・意欲ある若者や子どもたちが、地域で実践・挑戦する場や併走する大人が十分に整っていない
- ・学びと産業振興（雇用・起業）を結びつける仕組みが弱い

施策

施策 39 生涯にわたり学びを楽しむ環境を整備します

- ・教養の向上や健康の増進、文化の振興等のため、市民のニーズに合った各種講座や教室の積極的な開催
- ・若年層を対象とした公民館事業への関心の向上と公民館の利用促進の実施
- ・老朽化が著しい中央公民館及び菟田野、室生の各分館は、生涯学習の拠点機能を維持するため、地域内の他施設への移転の検討
- ・図書館では、利用促進を図るとともに、子ども読書活動推進、電子図書やデジタリ図書の拡大等により、子どもから高齢者まで幅広い世代の学びや交流の場の創出
- ・各社会教育施設について、中長期的な視点に立った維持・保全対策等や効率的な管理運営、利用促進
- ・自主学习スペース運営事業の更なる充実
- ・図書館へのアクセスが難しい地域や、移動手段が限られている地域からの図書館への利用
大字陀・榛原以外の地域における図書館の利活用について図書館からのサービス提供方法
正規職員における有資格者の確保

施策 40 地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支える環境づくりを推進します

- ・地域・家庭・事業所・行政等の連携を強化し、子育ての楽しさや大変さを分かち合えるよう、多様な人の協力と助け合いによる自主的な活動の支援
- ・子どもの自立や協調性を高めるため、関係団体の育成やイベント開催、ボランティア活動等の実施の支援
- ・各健全育成団体の協力を得ながら、未来を担う子どもたちの育成支援
- ・コミュニティスクールとしての取組を活かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援し、「地域と共にある学校づくり」を進めるため、子どもたちの学習補助や体験学習等の実施
- ・週末・放課後に学びたい子が学べる環境整備
- ・企業との連携による人材育成
- ・他地域連携、国際交流による人材育成

こんな事業を実施しています

- ・各種講座・教室事業
- ・図書館機能整備・充実事業
- ・自主学习スペース運営事業
- ・社会体育施設長寿命化計画事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市子ども読書活動推進計画
- ・宇陀市教育大綱
- ・宇陀市生涯学習振興指針
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- ・宇陀市スポーツ施設等個別施設計画

施策の方向性 4-4 スポーツ芸術文化の振興

現状（案）

- ・宇陀市のスポーツ施設等では、市民団体等が様々な活動を実施
- ・健康づくりへの取組みが注目され、団体スポーツ・個人スポーツとも気運が高まる
- ・2031年に奈良県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催予定
- ・芸術、文化活動の振興拠点化として文化会館、かぎろひホール等の環境が整っている
- ・宇陀市スポーツ施設等個別施設計画により、総合体育館及び文化会館において長寿命化計画を推進している。

課題（案）

- ・健康増進等を目的とした生涯スポーツと記録達成を目的とした競技スポーツのどちらでも活動できる環境づくり
- ・市民のスポーツ振興並びに、スポーツを通じた関係人口の拡大による地域活性化の拠点となる施設の整備
- ・地域等で誰もがスポーツを楽しむことのできる機会の拡大や共生社会の実現、健康寿命の延伸
- ・安全で快適に利用できる施設の長寿命化や適正な維持管理
- ・市民主体の文化活動への支援や芸術・文化に触れることができる情報発信や機会の充実
- ・施設の老朽化に伴う改修、施設の複合化及び長寿命化計画の推進

施策

施策 41 スポーツ活動の充実を図ります

- ・スポーツ施設の整備に向けた取組みを進め、スポーツ振興及びスポーツによるまちの活性化
- ・中長期的な視点に立った体育館や運動場等のスポーツ施設の維持・保全対策等による効率的な管理運営
- ・スポーツ施設を気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、各地域の施設を活用し、健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ・障がいのある人等のスポーツ参加を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現
- ・総合型地域スポーツクラブ設立支援による生涯スポーツ社会の実現
- ・2031年に奈良県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた会場誘致
- ・温水プールの老朽化対策

施策 42 芸術・文化の振興を図ります

- ・芸術・文化活動の拠点施設である文化会館の環境整備と長寿命化対策
- ・情報発信や講座等を充実し、芸術・文化に親しみ、感性を育てる市民の芸術・文化活動の支援
- ・創作活動の成果発表の場や、芸術・文化鑑賞による創造的な「思考力、判断力、表現力等」の育成
- ・芸術文化活動体験交流施設（ふるさと元気村）や室生高齢者等ふれあい館（音楽の森ふれあい館）等での芸術・文化活動を推進し、地域の活性化を図るとともに、より効果的な運営の実現
- ・多世代に向けた運動の取組み（ウエルネスシティの推進）

こんな事業を実施しています

- ・総合体育館長寿命化事業
- ・中学校部活動地域移行事業
- ・文化会館長寿命化事業
- ・市文化会館自主事業（有料公演、映画上映会）

こんな計画が関連しています

- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市生涯学習振興指針
- ・宇陀市障がい者計画
- ・宇陀市教育大綱
- ・宇陀市スポーツ施設等個別施設計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

目指すまちの姿5 自然豊かなまち

施策の方向性

- 5－1 豊かな自然環境の保全活用
- 5－2 生活環境の整備充実
- 5－3 公園緑地の整備活用

評価指標

- ①宇陀川のBOD
- ②市民1人当たりのごみ排出量

施策の方向性 5－1 豊かな自然環境の保全活用

現状（案）

- ・国は、2050年にカーボンニュートラルの実現とともに、2030年度、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ46%、60%、73%削減することを目指し、またこのことにより、中長期的な予見可能性を高め、脱炭素と経済成長の同時実現に向け、GX投資を加速していく。
- ・不法投棄の防止対策を実施
- ・植物では国指定天然物のカザグルマの自生地や向淵スズラン群落があり、保護活動や生育環境を保全
- ・室生ダムより下流の宇陀川や室生川等の河川に棲息している特別天然記念物オオサンショウウオの保護調査
- ・室生赤目青山国定公園の区域に含まれる宇陀市は豊かな自然に囲まれ、美しい山々ときれいな空気、水が生み出す風景が大きな強み

課題（案）

- ・国のカーボンニュートラルの実現に向けた取組みと合わせ、宇陀市においても脱炭素社会を視野に入れた取組みの推進
- ・清掃活動への参加意識を高めるとともに、環境美化運動についての啓発
- ・カザグルマやスズランの生育環境の保全
- ・オオサンショウウオの棲息や保護活動の啓発

施策

施策 43 未来へつなぐ自然環境の保全と共生を図ります

- ・グリーン社会の実現に向け、自然環境の保全と開発との調和
- ・地域での清掃美化運動の取組みの強化
- ・環境パトロールの実施による不法投棄の早期発見と早期撤去に努めるとともに、不法投棄防止看板の設置等による防止対策
- ・河川や地下水等の水質検査を実施し、水質保全の確保
- ・豊かな自然を感じてもらえるよう、スズランやカザグルマの個体群を観察、保護・再生するなど、国指定天然記念物の生育環境の整備
- ・奈良県と三重県教育委員会が共同で策定した特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針に基づいたオオサンショウウオの保護対策

こんな事業を実施しています

- ・電気自動車等導入事業
- ・庁舎等照明 LED 化推進事業

こんな計画が関連しています

- ・向淵スズラン群落保存管理計画
- ・カザグルマ自生地保存管理計画
- ・公共建築物における宇陀市産木材利用推進方針
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・宇陀市地球温暖化対策実行計画

施策の方向性 5－2 生活環境の整備充実

現状（案）

- ・宇陀クリーンセンターの稼働年限に応じた設備の更新・補修
- ・プラスチック資源循環戦略に基づく脱プラスチックの取組みなどによる、廃棄物排出抑制
- ・ごみの減量化や資源化を通じた循環型社会の構築
- ・市営榛原斎場や不帰堂火葬場の設備を計画的に修繕
- ・水質保全や公衆衛生の向上のため、下水道施設の点検調査による破損等の未然防止や合併処理浄化槽の設置に対する支援
- ・近隣市村で構成する宇陀衛生一部事務組合により、し尿処理を実施
- ・寒暖差が大きく、住宅の断熱化を要する立地にあるにもかかわらず、住宅の断熱化が進んでいない。
- ・建築関連事業者および市民の、住まいの断熱化に対する興味関心が低い。

課題（案）

- ・2027年度までに安定的なごみ処理施設の設置
- ・市民のリサイクル意識の向上を図り、持続可能な社会の実現に向けた取組みの推進
- ・老朽化している下水道施設やし尿処理施設等の維持管理
- ・単身高齢者へのごみ出し支援
- ・ごみ処理施設の更新
- ・ごみ処理の広域化
- ・建築関連事業者および市民の、住まいの断熱化に対する興味関心を高めるため、普及啓発による意識改革や、断熱化による効果を体感するためのモデルケースを示す必要がある。

施策

施策 44 環境にやさしい資源循環と処理体制の広域化を推進します

- ・新たなごみ処理施設の整備と、それまでの期間、既設の施設での安定したごみ処理
- ・ごみの減量に対する意識の高揚に向けた啓発活動や資源ごみの回収、集団回収への支援を通じたりサイクルの推進
- ・家庭の生ごみの減量・資源化を促進するため、処理機購入に対する支援

施策 45 すこやかな暮らしを支える生活環境を整備します

- ・水質保全や公衆衛生の向上のため、下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置に対する支援
- ・生活衛生環境の向上のため、し尿処理施設の維持管理の徹底
- ・市営榛原斎場と不帰堂火葬場を計画的に修繕し、機能の維持を図るとともに、適切な運営
- ・市営赤人霊苑の適切な管理運営に努め、墓地使用者が安心して利用できる環境の提供
- ・狂犬病予防注射や登録など、動物の飼育マナーの啓発
- ・下水道施設のストックマネジメント計画に基づき、管路更生工事等を施工し、施設の長寿命化の推進
- ・住宅省エネの推進
- ・健康で快適な住まいを普及させるため、住宅の断熱性能を向上させる省エネ改修の啓発と支援

こんな事業を実施しています

- ・ごみ処理施設広域化事業
- ・一般廃棄物処理施設等整備事業
- ・狂犬病予防注射委託事業
- ・合併処理浄化槽整備補助事業
- ・斎場・火葬場運営業務委託事業
- ・既存住宅省エネルギー改修工事等補助事業
- ・戸建て住宅断熱改修補助事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画
- ・地球温暖化対策実行計画

施策の方向性 5－3 公園緑地の整備活用

現状（案）

- ・平成榛原こどものもり公園は市外からの来園者が多く人気があるものの、2001年の開園時に比べると、来園者数は大きく減少
- ・室生山上公園芸術の森の来園者数が、近年飛躍的に増加の傾向
- ・公園や緑地施設は交流やにぎわいの拠点となる場所であるが、老朽化が進行している施設が存在

課題（案）

- ・市民の憩いの場としてだけでなく、健康づくりやまちづくりを実現するための空間整備
- ・公園や緑地空間を良好な状態に保ちながら来園者の増加を図るなど、より効果的な活用及び、適正な管理・運営
- ・利用者が安全・快適に利用できるよう、公園施設の計画的な更新

施策

施策 46 にぎわいと癒しの公園・緑地空間を創出します

- ・平成榛原こどものもり公園の運営において、民間活力の導入による、魅力的な公園・緑地空間の提供
- ・室生山上公園芸術の森は、文化芸術活動による地域の活性化を推進するとともに、来園者の多いシーズンにも対応した維持・運営の徹底
- ・老朽化により更新が必要な公園施設の修繕や長寿命化を計画的に進めるなど、安全・快適に利用できる空間の維持
- ・奈良県と連携して、うだ・アニマルパークへの誘客を図るとともに、動物愛護の精神に基づく「いのちの教育」の展開
- ・遊び場の確保

こんな事業を実施しています

- ・室生山上公園芸術の森管理運営事業
- ・平成榛原子供のもり公園民間活力活用事業
- ・長寿命化計画に基づく公園施設整備事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市都市計画マスタープラン
- ・奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- ・宇陀市公園施設長寿命化計画
- ・緑の基本計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

目指すまちの姿 6 地域力を発揮するまち

施策の方向性

- 6－1 市民と行政の協働のまちづくり
- 6－2 健全な行政運営の推進
- 6－3 広域行政の推進
- 6－4 地域力の再生強化

評価指標

- ①まちづくり協議会による取組み件数
- ②市やまちづくり協議会のSNSフォロワー数
- ③経常収支比率

施策の方向性 6－1 市民と行政の協働のまちづくり

現状（案）

- ・議会本会議の状況を生放送するとともに、会議内容をホームページで公開
- ・市民の行政に対するニーズが多様化
- ・情報通信技術の進展によるデジタル化の浸透に伴い、情報を発信する媒体が多様化
- ・ホームページやフェイスブック等を活用し、市内外に向け情報を発信
- ・「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、市内全地域でまちづくり協議会が活動
- ・審議会等へ参加いただく市民を公募し、様々な意見を市政に反映するとともに、各種計画についてパブリックコメントを実施

課題（案）

- ・市民生活に役立つ新鮮で魅力ある情報を迅速に発信するとともに、市民の意見を反映する双方向の発信
- ・宇陀市の魅力を高めるため、情報通信技術を活かした多様な情報発信
- ・地域の課題解決等に取り組む自治会やまちづくり協議会を担う人材の確保
- ・高齢者を含むすべての世代が安心して利用できるデジタル環境の整備

施策

施策 47 戦略的な情報発信と市民との双方向コミュニケーションを推進します

- ・議会定例会や各種審議会の会議内容をホームページで公表するなど情報の共有
- ・各施策・各事業等の説明責任を果たすため、最新の情報を市ホームページや広報うだ、自主放送「うだチャンネル」、フェイスブックなど様々な情報発信手段の活用
- ・宇陀市の農林畜産物や自然環境、歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として広く情報発信するため、YouTube 等の活用
- ・観光情報や各種イベントについての効果的な情報発信
- ・市民や民間事業者が利活用できるオープンデータの公開に取組み、データの二次活用の促進
- ・開かれた議会運営の推進
- ・議会定例会、臨時会、各委員会の会議をインターネット上で配信し、情報を幅広く発信する取組みの推進
- ・議会定例会や各委員会等の会議資料をホームページで公開するなど、情報を広く共有する取組みの推進

施策 48 協働による持続可能な地域づくりを推進します

- ・市民と議会、行政との協働によるまちづくりの推進
- ・市民や自治会・まちづくり協議会等の団体と協働して、地域ごとの課題解決に向けた体制の強化し活動・運営を積極的に支援する仕組みの構築
- ・市内の隅々から声の届く市民参加型の行政を目指し、事業所や各種団体と市長が直接、意見交換を行うなど開かれた市政の実現
- ・審議会等への積極的な市民参加を推進し、市民の意見を反映できる体制の強化
- ・議会基本条例の制定
- ・市民参加型の議会（意見交換会、議会報告会）の開催

こんな事業を実施しています

- ・社会教育推進講座事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 6－2 健全な行政運営の推進

現状（案）

- ・国において、「書面、押印、対面」の見直しやデジタル化が加速
- ・国において、各自治体が独自に構築しているシステムを標準化する動き
- ・申請方法の周知や窓口の拡充により積極的にマイナンバーカードを普及
- ・市税等のコンビニ収納や窓口手数料等のキャッシュレス決済を導入
- ・市税・ふるさと納税をはじめとする自主財源が少ない
- ・財政健全化に向けた取り組みを推進
- ・公共施設の維持管理経費が類似団体に比べて高く、公共施設やインフラ資産の老朽化が進み、更新の時期を迎える施設等が増加

課題（案）

- ・多様な行政需要に対応するために、行政手続きのオンライン化を推進するなどデジタル技術等を活用した市民の利便性向上及び業務の効率化
- ・行政組織としての機能を十分に発揮できる組織改革と職員一人ひとりの意識改革と資質の向上
- ・市民が安心して住み続けられる行財政経営を行っていくために、財源の確保と経費の縮減
- ・市が保有する土地について、特に未利用資産の貸付や売却に向けた取り組み
- ・施設の集約化、未利用施設の廃止

施策

施策 49 利用者目線に立った親切的な行政サービスを提供します

- ・市役所において個人情報保護などセキュリティ対策を徹底した上でデジタル技術の活用を進め、行政の効率化や迅速かつ正確な事務処理を行うなど、DXの推進によるサービスの向上と業務の改善
- ・国が進めるマイナンバー制度の活用拡大に合わせ、全ての人のマイナンバーカード取得を目指し、各種申請のオンライン化等の利活用を促進
- ・庁内の情報連携を図り、手続きや相談のワンストップ化
- ・窓口での証明書発行手数料や公共施設利用料など、キャッシュレス決済の普及促進
- ・DXを活用した窓口の円滑化
- ・電子申告の普及啓発
- ・地域住民のニーズに寄り添い、地域の特性や魅力を活かした運営ができるよう、地域事務所の役割や機能のあり方について検討
- ・業務効率の向上・改善と市民の利便性向上を両立させるDX推進

施策 50 変化に強い柔軟で効率的な行政運営を確立します

- ・多様なニーズや新たな時代に対応した行政サービスを提供するため、人材の確保や市民から信頼される職員の育成
- ・新たな時代に対応した組織体制の構築や職員の適正配置を行うとともに、業務上発生しうるリスクに対する組織的な管理の徹底や情報セキュリティ対策の強化
- ・行政事務のデジタル化、ペーパーレスの実現に向けた文書の電子化を進め、事務処理の効率化
- ・AI（人工知能）やRPAなど情報通信技術を活用したスマート宇陀による業務改革を推進し、持続可能な行政サービスの提供
- ・災害時においても業務が継続できる体制の整備
- ・効率的な組織改編を通じて、適正な人員配置を推進

施策 51 中長期を見据えた財政の健全化と最適化を図ります

- ・将来にわたって安定的な財政運営を行うため、歳出の見直しと市税の徴収率の向上
- ・選択と集中による将来を見据えた事業の推進
- ・ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度を活用した財源の確保
- ・財政調整基金の確保に努め、将来負担を見据えた計画的な市債の発行
- ・公共施設やインフラ資産を適切に管理し、安全の確保と長寿命化を図り、必要に応じた民間ノウハウの有効活用
- ・公共施設の機能集約を進め、施設保有量の最適化
- ・市が保有する未利用資産の有効活用や売却

こんな事業を実施しています

- ・マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業
- ・スマホ決済アプリによる市税納付
- ・契約書作成支援ツール導入事業
- ・各種職員研修
- ・自治体D X推進支援事業
- ・ふるさと応援寄附事業
- ・事業の選択と集中による地方債の発行抑制
- ・公共施設マネジメント推進事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市行政改革大綱
- ・宇陀市公共施設等総合管理計画
- ・宇陀市立地適正化計画
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 6－3 広域行政の推進

現状（案）

- ・桜井宇陀広域連合を通じて圏域内の地域活性化や観光・スポーツ振興、介護保険認定審査等の業務を実施
- ・桜井宇陀広域連合では圏域内の地域活性化に関する業務や介護保険認定審査会等の業務を実施
- ・近隣市村と構成する一部事務組合により、ごみ処理やし尿処理業務を実施
- ・奈良県と県内 26 市町村によって構成される奈良県広域水道企業団による上水道事業の実施

課題（案）

- ・時代の変化を踏まえたデジタルツールの活用や広域事務の電子化に向けた基盤構築の進展
- ・行政事務の効率化やコスト削減に向けた広域化の進展
- ・広域での周遊・滞在型観光に向け、周辺市町村との連携を強化するとともに組織の集約化
- ・自治体間交流の促進
- ・安全で安心な水道水を将来にわたって持続的に供給する体制の維持
- ・地域公共交通の路線縮小・廃止、運転手不足

施策

施策 52 広域連携による行政サービスの向上を図ります

- ・広域連合や一部事務組合による住民サービス向上と広域行政事務の効率化
- ・大和高原地域や女人高野室生寺等の観光事業について、広域での周遊・滞在型観光を推進するため、関係市町村との連携の強化
- ・より良い行政サービスの実現や、関係人口の創出による地域活性化に向け、他都市と友好的な交流
- ・スマート行政の実現に向けた奈良県や関係市町村とのデジタル連携
- ・奈良県広域水道企業団による、安定的な水の供給
- ・地域公共交通の持続可能性を高めるため、自治体間連携や広域ネットワーク化

こんな事業を実施しています

- ・奈良県広域水道企業団繰出金
- ・桜井宇陀広域連合事業

こんな計画が関連しています

- ・水道事業等の統合に関する覚書
- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

施策の方向性 6－4 地域力の再生強化

現状（案）

- ・担い手の不足や高齢化等により、自治会やまちづくり協議会の活動力が低下
- ・高齢化の進行、生活スタイルや価値観の多様化等により、地域課題が多様化
- ・地域の個性を活かした活動を行う団体に対して支援

課題（案）

- ・地域の実情や課題を認識した上で、問題の解決
- ・地域のにぎわいの創出や活性化の推進
- ・宇陀市のまちづくりに携わり、応援してくれるサポーターを増やしながら、地域全体が連携したまちづくりの推進
- ・自治会・まちづくり協議会の担い手不足や高齢化による活動力の低下に対する支援
- ・多様な主体の参画のもと公民協働による地域課題の解決

施策

施策 53 市民主体によるまちづくりへの継続的支援を行います

- ・さらなる地域力向上のため、自治会やまちづくり協議会の連携と運営の支援
- ・地域の資源や特性を活かした自主的な活動に取り組む団体への支援
- ・市民団体が行う様々なまちづくり活動の支援
- ・まちづくり協議会と自治会の連携
- ・地域コミュニティ活動への支援

こんな事業を実施しています

- ・地域活性化推進事業
- ・まちづくり協議会の促進
- ・まちづくり活動応援補助金
- ・市連合自治会支援事業

こんな計画が関連しています

- ・宇陀市過疎地域持続的発展計画

1. 後期基本計画の成長戦略(案)の検討

- 第2次宇陀市総合計画は中期基本計画より宇陀市総合戦略を包含しており、同計画ではまち・ひと・しごと創生に関する基本的方向を「宇陀ではたらく」「宇陀でくらす」「宇陀でつなげる」の3つの成長戦略として位置付けている。
- 後期基本計画においては、令和7年6月13日に「地方創生2.0基本構想」が閣議決定され、国の基本構想の5つの政策の柱が公表されたことを踏まえ、これまでの3つの成長戦略を同政策の柱に合わせた5本に再編することを検討している。

〈参考〉まち・ひと・しごと創生法 第十条(市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略)

第1項 市町村(……)は、まち・ひと・しごと創生総合戦略(……)を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画(……)を定めるよう努めなければならない。

第2項 市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略は、おおむね次に掲げる事項について定めるものとする。

一 市町村の区域におけるまち・ひと・しごと創生に関する目標

二 市町村の区域におけるまち・ひと・しごと創生に関し、市町村が講ずべき施策に関する基本的方向

三 前二号に掲げるもののほか、市町村の区域におけるまち・ひと・しごと創生に関し、市町村が講ずべき施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項

第3項 (省略)



図 後期基本計画の成長戦略(案)

2. 後期基本計画の重点施策（案）の検討

市民ニーズの高い施策（アンケート、既存計画等それぞれでニーズの高い項目）及び所属課ヒアリングや市長公約を踏まえ、専門部会、策定委員会において本市として特に取り組むべき施策を検討した。
専門部会及び策定委員会を経て作成した施策（案）は以下のとおり。

表 後期基本計画の施策（案）

基本構想（12年間共通）		中期基本計画		ニーズ把握				後期基本計画		（参考）市長公約との対応	
目指すまちの姿	施策の方向性	施策		市民		行政		市民ニーズの高い施策	施策（案）	番号	公約の施策名
				アンケート	既存計画等	所管課ヒアリング	市長公約		No	施策名称	
健康なまち	1-1「健康都市"ウェルネスシティ宇陀市"」の実現	1 新型コロナウイルスなど感染症予防や対策の充実を図ります	⇒					-	1	健康づくり活動による元気人口の増加を図ります	
		2 健康づくり活動による健康長寿のまちを実現します	⇒					-	2	高齢者の健康寿命の延伸を図ります	
		3 高齢者の介護予防を推進します	⇒			○		-	3	感染症への備えを強化し、健康的な生活を守ります	
	1-2みんなの幸せを支える福祉環境づくり	4 だれもが住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します	⇒				○	-	4	すべての人が自分らしく暮らせるまちを実現します	5-② 「認知症の不安ゼロのまち」宣言 高齢者保健福祉の推進
		5 面倒見のいい地域福祉を推進します	⇒		○	○		-	5	つながりを生かした支え合いの地域福祉を推進します	5-③ 孤立対策、障がいのある人の地域生活支援拠点づくり
		6 医療費の助成による安心できる暮らしを実現します	⇒		○	○		-	6	暮らしに寄り添う医療費助成の活用を推進します	
	1-3結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	7 保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します	⇒	○	○		○	○	7	質の高い支援で子育てしやすいまちづくりを推進します	3-④ 「宇陀で子どもを育てたい」と実感できる子育て支援
		8 子どもが健やかに育つよう支援します	⇒					-	8	こどもの健やかな育ちと学びを支援します	
		9 産前産後の支援・乳幼児への支援の充実を図ります	⇒					-	9	妊娠から出産・子育てまで切れ目ない支援を充実します	
	1-4地域医療体制の充実を図ります	10 医療体制の充実を図ります	⇒	○		○	○	-	10	持続可能な医療提供体制の確保とICTの活用を図ります	5-④ 宇陀市立病院の地域医療充実
		11 地域医療と福祉の連携を推進します	⇒	○	○	○		○	11	医療・介護・福祉の切れ目ない連携を推進します	
暮らしやすいまち	2-1みんなが住み良いまちづくりの実現	12 景観や環境を大切にすまちづくりを推進します	⇒					-	12	自然と共生する景観・環境の保全と活用を図ります	
		13 交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します	⇒					-	13	地域と連携した安全・安心な暮らしを確保します	
		14 土地利用を推進します	⇒	○	○	○	○	○	14	地域の特性に応じた土地の有効利用を促進します	4-⑦ 市外化調整区域の規制緩和、企業立地を促進
	2-2移住・定住の促進強化	15 移住・定住者への総合的な支援の充実を図ります	⇒		○	○	○	-	15	移住・定住者が安心して暮らせる支援と空き家の利活用を推進します	6-① 宇陀ブランドを全国に発信→→移住・定住、関係人口の増加へ
								-			6-③ 空き家利活用プロジェクト
								-			2-② 道路、橋梁、水道など「命の道」の強靱化
	2-3公共インフラの持続的な整備・維持・活用	16 安全で快適な道路環境を整備・維持します	⇒	○	○		○	○	16	地域の暮らしを支える安全・快適な道路の整備を図ります	5-⑤ 通院・買い物など地域交通サービスの充実
		17 ニーズに応じた地域公共交通を推進します	⇒	○	○	○	○	○	17	地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保を図ります	2-② 道路、橋梁、水道など「命の道」の強靱化
		18 効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します	⇒			○	○	-	18	安心・安全な下水道サービスの提供と適正な施設管理を推進します	2-① 大規模災害への強靱化・災害弱者対応
	2-4災害に備えた安全・安心な暮らしの実現	19 自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します	⇒		○	○	○	-	19	災害への備えと暮らしの安全確保を図ります	2-④ 大規模災害への強靱化・災害弱者対応
		20 防災意識の向上と防災・消防体制の強化を図ります	⇒			○	○	-	20	地域防災力の強化と消防体制の安定的な維持・充実を図ります	

基本構想（12年間共通）		中期基本計画		ニーズ把握				後期基本計画		（参考）市長公約との対応	
目指すまちの姿	施策の方向性	施策		市民 アンケート 既存計画等	行政 所管課 ヒアリング	市長 公約		市民ニーズ の高い施策	施策（案）	番号	公約の施策名
活力あるまち	3-1地域資源の保全及び産業と連携した活用	21 歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します	⇒				→	-	21 歴史と文化を活かした地域の魅力づくりを推進します		
		22 宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します	⇒				→	-	22 地域の魅力ある特産品や資源を「宇陀ブランド」として価値向上と発信を図ります		
	3-2地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成	23 起業家など多様な人材を育成します	⇒				→	-	23 地域に活力をもたらす多様な人材の発掘と育成を図ります	3-⑥	公民連携でIT技術者養成アカデミー（大学）設立
		24 地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します	⇒	○			→	-	24 地域特性を生かした農地の活用と農業基盤の強化を図ります		
	3-3基幹産業である農林業の再生・活性化	25 人材の確保と育成など魅力ある農林畜産産業経営の強化を図ります	⇒	○	○	○	→	-	25 農林業の担い手確保と経営力の強化を図ります	4-⑤	「オーガニックビレッジ」農林業の振興
		26 農林畜産物の生産・流通を推進します	⇒		○	○	→	-	26 地場産品の高付加価値化と販路拡大を図ります	4-④	毛皮革ブランド力の向上
	3-4商工業の再生・活性化	27 山林を適切に管理します	⇒	○	○	○	→	○	27 森林資源の循環活用と適正管理を推進します	4-⑤	「オーガニックビレッジ」農林業の振興
		28 駅前活性化を推進します	⇒	○			→	-	28 駅前を人と人がつながる交流拠点として活性化を図ります	4-⑥	持続可能な森林経営を支援
		29 地元で活動する事業者を支援します	⇒	○	○	○	→	○	29 地元事業者の成長支援と事業承継を促進します	4-①	「公民連携」を加速、地域経済の拡大と雇用創出
		30 企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します	⇒	○	○	○	→	-	30 地域に根差す産業の創出と企業誘致を推進します	4-②	経営支援・創業支援・担い手育成で地元を応援
	3-5観光戦略の推進	31 魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します	⇒			○	→	-	31 地域資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進します	4-③	地域商社の設立
		32 満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします	⇒	○	○	○	→	○	32 滞在・交流を促す観光による関係人口の創出を図ります	4-⑦	市外化調整区域の規制緩和、企業立地を促進
		33 観光PRや情報発信の強化を図ります	⇒				→	-	33 効果的な観光プロモーションと地域の魅力を伝える情報発信を推進します	4-①	「公民連携」を加速、地域経済の拡大と雇用創出
			⇒				→	-	34 多様性と人権が尊重される地域づくりを推進します	4-③	地域商社の設立
生涯輝くまち	4-1人権を大切に共生のまちづくりの実現	34 一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します	⇒		○	○	→	-	34 多様性と人権が尊重される地域づくりを推進します	5-①	誰一人取り残されない共生の地域づくり
		35 あらゆる分野での男女共同参画を推進します	⇒				→	-	35 ジェンダー平等により誰もが対等に参画できる社会を実現します		
	4-2子どもたちの教育環境の充実	36 仕事と生活の調和がれたワーク・ライフ・バランスを推進します	⇒	○	○	○	→	-	36 多様な働き方と暮らしの両立を支援します		
		37 児童生徒の「よりよき生きる力」を育てます	⇒		○	○	→	-	37 児童生徒の生きる力と社会性の育成を図ります		
		38 児童生徒の教育環境を整えます	⇒	○	○	○	→	○	38 安心して学べる教育環境を整備します	3-①	幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の給食費無償化
			⇒				→	-		3-②	「模原こども園」「妊産婦・こども・家庭の総合支援拠点を新設」
	4-3多様な学びの場の整備・充実	39 生涯学習環境の充実を図ります	⇒			○	→	-	39 生涯にわたり学びを楽しむ環境を整備します	3-③	「こども第3の居場所」「重症心身障害児（者）の居場所」の充実
		40 地域社会全体で子どもの育ちを支えます	⇒		○		→	-	40 地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支える環境づくりを推進します	3-⑤	欧米への教育先進国エストニアと連携「教育のまち」宣言
	4-4スポーツ・芸術・文化の振興を図ります	41 スポーツ活動の充実を図ります	⇒		○	○	→	-	41 健康と交流を育むスポーツを推進します		
		42 芸術・文化の振興を図ります	⇒		○		→	-	42 生きがいと交流を育む文化・芸術活動を推進します	6-⑥	高原スポーツのまちづくり
自然豊かなまち	5-1豊かな自然環境の保全・活用	43 豊かで美しい自然環境を保全・活用します	⇒				→	-	43 未来へつなく自然環境の保全と共生を図ります		
	5-2生活環境の整備・充実	44 ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します	⇒		○	○	→	-	44 環境にやさしい資源循環と処理体制の広域化を推進します	1-⑤	環境優良のまち「新クリーンセンター」建設
	5-3公園・緑地の整備・活用	45 生活衛生環境の向上を図ります	⇒				→	-	45 すこやかな暮らしを支える生活環境を整備します		
	5-3公園・緑地の整備・活用	46 快適に利用できる公園・緑地空間を提供します	⇒		○	○	→	-	46 にぎわいと癒しの公園・緑地空間を創出します		
地域力を発揮するまち	6-1市民と行政の協働のまちづくり	47 情報発信の充実を図ります	⇒		○		→	-	47 戦略的な情報発信と市民との双方コミュニケーションを推進します		
	6-2健全な行政運営の推進	48 市民協働のまちづくりを推進します	⇒			○	→	-	48 協働による持続可能な地域づくりを推進します		
		49 わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します	⇒			○	→	-	49 利用者目線に立った親切的な行政サービスを提供します		
	6-3広域行政を推進します	50 新たな時代に対応できる行政運営を確立します	⇒			○	→	-	50 変化に強い柔軟で効率的な行政運営を確立します	1-③	行政のデジタル化やCO2削減を加速
		51 持続可能な財政運営を確立します	⇒	○	○	○	→	-	51 中長期的に見据えた財政の健全化と最適化を図ります	1-④	有利な財源や民間投資で、もっと良くなる市民サービス
	6-4地域力の再生・強化	52 広域行政を推進します	⇒			○	→	-	52 広域連携による行政サービスの向上を図ります	6-②	県・市連携のまちづくり
		53 市民のまちづくり活動を支援します	⇒		○	○	→	-	53 市民主体によるまちづくりへの継続的支援を行います	6-⑦	地域コミュニティ活性へ行催事・活動を支援

■リーディングプロジェクトに掲載する施策案

成長戦略	重点施策	個別施策
宇陀でくらす	安心して子育てできる支援体制の整備	安心して過ごせる子どもの居場所づくりの支援 妊娠期から切れ目のない子育てサポートの推進
安心の 子育て・健幸まちづくり	地域医療の充実とデジタル化の推進 医療・介護・福祉の連携体制の強化	宇陀けあネットの活用による医療・介護連携の効率化 うだ健幸プラザを核とした保健福祉機能の強化 官民・地域が一体となって取り組む認知症予防
	みんなでつくるウェルネスシティ宇陀市	全年代の元気人口の増加 社会参加や居場所づくり推進
	災害対応力の強化と安全な暮らしの実現	避難所設備の強化により災害に強いまちを推進 安心安全メールなどの活用により防災情報等の発信を強化
	ニーズに応じた地域公共交通の確保	共助型・参加型の地域公共交通の推進 地域住民と観光振興を支える交通ネットワークの構築
	一人ひとりが輝ける共生社会の実現	人権教育・啓発の推進 相談支援体制の充実
	子どもたちの未来を育む教育環境の整備	地域とともに進める学校の適正化 エストニアとの交流による人材育成の推進
	ごみ処理施設の整備と資源循環の推進	ごみ処理施設の整備による処理体制の広域化 効率的で持続可能な収集体制の構築
宇陀ではたらく	地区特性を踏まえた土地活用と地域再生の推進 担い手育成と農林業経営の安定化	市街化調整区域における土地の利用促進 全国初のオーガニックビレッジ宣言都市としての取組推進 新規就農者の安定的な経営確立に向けた支援の充実
安心の 地域経済 ・人を育てるまちづくり	森林整備と資源循環の促進 地元事業者の経営基盤強化と事業承継の支援	森林環境譲与税等を活用した森林環境整備の促進 地元企業の経営基盤強化と事業承継の支援 地域内連携を促進する中小企業経営支援
	宇陀の資源を活かした産業の育成と企業誘致	地域商社を核とした地場産業の振興と育成 地域資源を活かした企業誘致と起業支援 薬草を活かした地域産業の創出
宇陀とかかわる	空き家活用と暮らしの支援による移住定住の促進	空き家の利活用による移住定住の推進
安心の 移住定住・ 交流まちづくり	安心な暮らしを支える道路整備の推進 関係人口の増加を目的とした滞在・交流型観光の推進	国道165号(中和津道路)の整備推進 道路・橋梁補修による安全な道路環境の確保 宇陀市の魅力を伝えるPR、イベント企画、地域資源活用の推進 伊勢本街道を活用した滞在・交流型観光の推進
	将来世代に責任ある財政運営 地域力を高める地域活動の継続支援	事業の選択と集中による地方債の発行抑制 ふるさと応援寄附制度を活用した財源の安定的確保 自治会・まちづくり協議会の連携と活動支援 市民と議会、行政との協働のまちづくりの推進
宇陀ですすめる	DXによる行政サービスの効率化と利便性の向上	データやデジタル技術を活用した事務の効率化 マイナンバーカードを活用した行政手続きの簡素化
安心の 次世代まちづくり (DX・GX・FMの推進)	ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進 GX・DX人材の育成 FMの推進による公共施設等適正化の推進	電気自動車等の導入促進 住宅の省エネルギー化改修の推進 未来を切り拓くデジタル人材の育成・確保 職員のデジタルリテラシーの向上とデジタル人材の育成 経営的な視点で公共施設等の質・量・費用の最適化 デジタルマネジメントの推進
宇陀とつながる	公民連携まちづくりの推進	公民連携による地域課題の解消 公民連携まちづくりプラットフォームの推進
安心の 協働まちづくり (広域・公民連携)	奈良県東部地域における医療連携の強化 企業版ふるさと納税を活かした地域活性化プロジェクト 多様な主体との連携で挑む交通・移動の課題解決	近隣自治体との連携による安定的な医療提供体制の維持・確保 奈良県東部地域の中核病院としてへき地医療拠点病院である市立病院の機能強化 新たな財源確保と企業連携の推進 宇陀を応援する企業との連携強化 多様な主体の参画による地域公共交通の推進 デジタル技術を活用した地域公共交通の利便性向上と次世代移送手段の検討

第2次宇陀市総合計画後期基本計画策定スケジュール

項 目	2025年度(令和7年度)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)総合計画後期基本計画の策定				←素案作成→					案作成			
(2)パブリック・コメント									←パブリックコメント→			
宇陀市総合計画審議会		● 第1回(5/27)		● 第2回(7/25)		● 第3回(9/16)		● 第4回(11/25)			● 第5回	
策定委員会及び策定委員会専門部会												
1) 策定委員会		● 第1回(5/19)		● 第2回(7/18)	● 第3回(8/22)			● 第4回(11/12)			● 第5回	
2) 策定委員会専門部会				←専門部会 7/2 ~ 7/4		←専門部会 8/4 ~ 8/6						
宇陀市議会							●					●

【2025年度宇陀市総合計画審議会のテーマ(予定)】

第3回(2025.9.16) ; 後期基本計画の骨子案について、リーディングプロジェクトについて、今後のスケジュールについて

第4回(2025.11.25) ; 人口目標について、後期基本計画(案)について

第5回(2026.2) ; 後期基本計画に対する答申